取扱説明書

D-ILAホームシアタープロジェクター

型名 **DLA-HD1**

D-ILA®

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

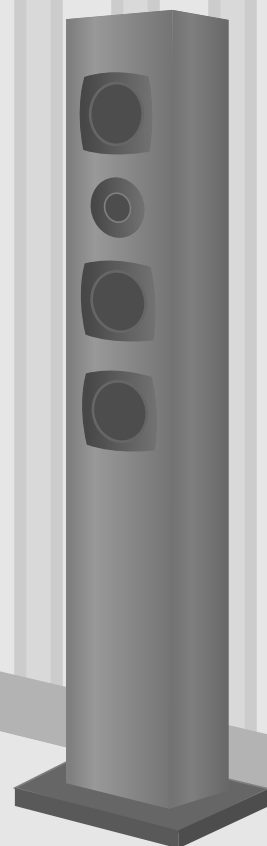
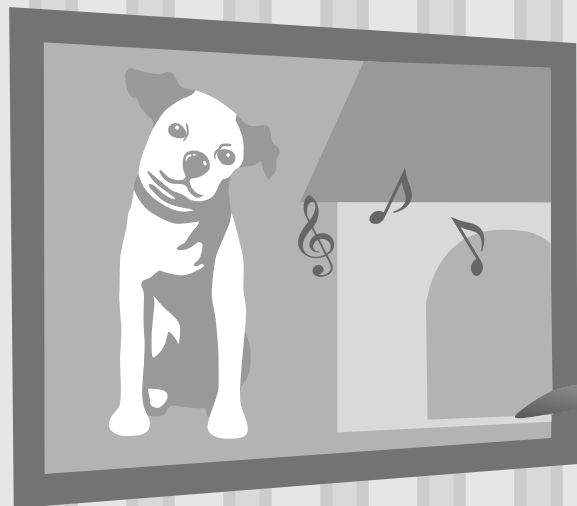
お買い上げありがとうございます

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」(6～9ページ)は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
D-ILA®は日本ビクターの登録商標です。

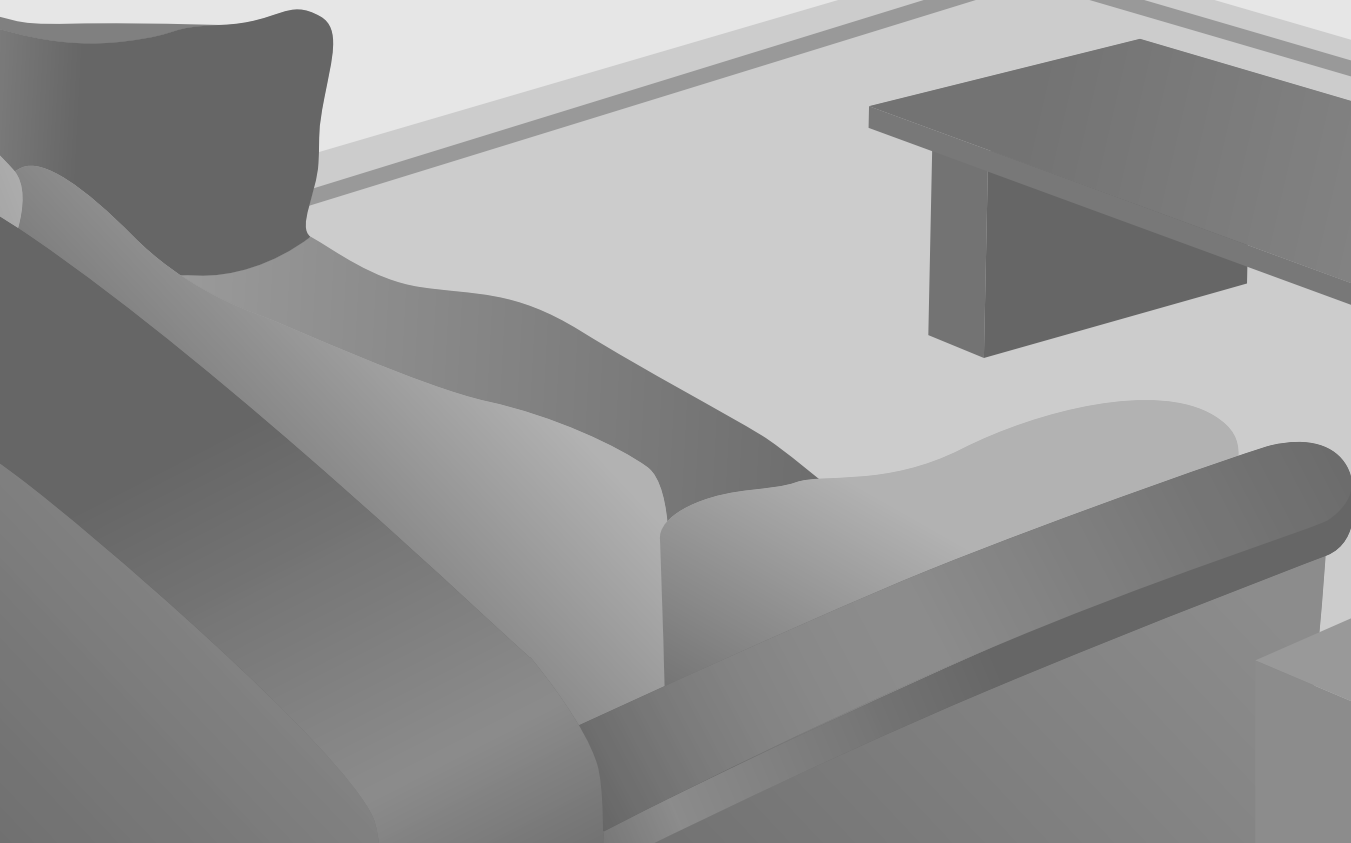
ユーザー登録
のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報や
イベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

● **下記のホームページアドレスより、ご登録ください。**
http://www.victor.co.jp/reg/

LCT2214-001E

主な特長

多彩なデジタル機器に対応

- ハイビジョン信号をデジタルのまま伝送できるHDMI端子を２系統搭載。(📖P14)

大画面でもこんなにきれい

●解像度1920×1080ピクセルのフルハイビジョン映像により、グリッドが目立たなく滑らかな高精細映像を楽しめます。(P20)

置く場所を問わない

●上下80%、左右34%のレンズシフト機能を搭載。(P18)

もくじ

はじめに

主な特長 2
もくじ 4
本書の見かた・付属品・別売品 5
- この取扱説明書について 5
- 付属品を確認しましょう 5
- 別売品 5

安全上のご注意 6
各部のなまえとはたらき 10
リモコンの使いかた 13
- 電池の入れかた 13
- リモコンの操作範囲 13

準備

つなぐ機器を選ぶ 14
接続する 15
- 映像コードでつなぐ 15
- S 映像コードでつなぐ 15
- HDMI ケーブルや HDMI-DVI 変換ケーブルでつなぐ 16
- コンポーネント映像コードや D 端子コードでつなぐ 16
- SCART プラグ変換ケーブルでつなぐ 17
- RGB 映像コードでつなぐ 17

プロジェクターとスクリーンを設置する 18
- 画面サイズと投写距離 19

投写する

映像を投写する 20
投写中の便利な機能 22
- 画面サイズを設定する 22
- 映像の周囲をマスクする 22

設定と調整

設定メニュー 24
- メニュー操作のしかた 24
- 設定メニュー 25

お好みの映像にする 32
- 出荷時のイメージプロファイルの値を変更する 32
- ユーザー用イメージプロファイルに登録する 33

こんなときは

故障かな？ と思ったら 34
こんなメッセージが出たら 36
インジケーターの警告表示について 37
- 警告モードの対応について 37

ランプを交換する 38
- ランプ交換のしかた 38
- ランプの時間リセット 40

フィルターの掃除と交換のしかた 41

その他

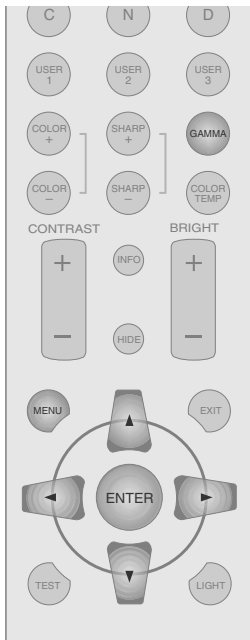
保証とアフターサービス 42
- 保証書と補修用性能部品について 42
- 修理を依頼されるときは 42
- お客様の個人情報のお取り扱いについて 42

サービス窓口のご案内 43
RS-232C インターフェース 44
- RS-232C 仕様 44
- コマンドフォーマット 44
- RS-232C 通信例 47

著作権とご注意 48
- 商標と著作権について 48
- 使用上のご注意 48
- 本機を固定するときは 49

主な仕様 50
- 外形寸法 51

本書の見かた・付属品・別売品

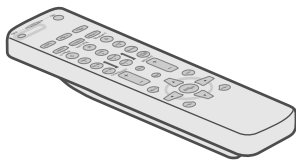
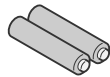
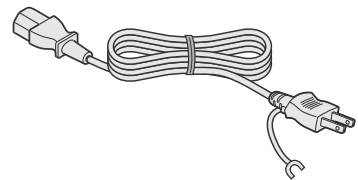
この取扱説明書について

操作に使用するボタンの色を濃くしています。

本文中では、おもにリモコンのボタンを使った操作方法で説明しています。

- リモコンのボタンは［ボタン名］と表現しています。
- メニューの選択項目は、「選択項目」と表現しています。

■本文中にある補足説明について

	機能や使用上の制限などを説明しています。
	ぜひ、知ってほしい情報を示しています。
	操作上の注意などを説明しています。
P5	関連するページを示しています。

付属品を確認しましょう

リモコン

単４形乾電池
(動作確認用)

電源コード
(2 m)

- そのほかに取扱説明書、保証書、その他印刷物が入っています。

別売品

詳しくは、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

- 交換ランプ : BHL5009-S(ランプユニット)
- 交換フィルター : LC32058-002A(インナーフィルター)

安全上のご注意

ご使用になるかたや他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

⚠警告 「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

⚠注意 「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

高温注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

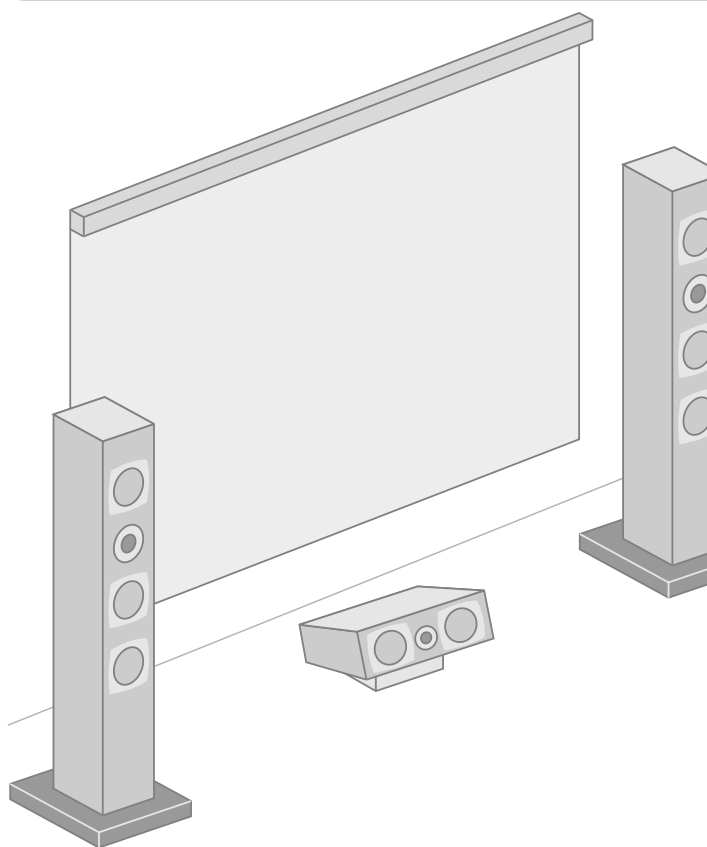
水場での使用禁止

実行して欲しいこと

電源プラグを抜く

アース線をつなぐ

⚠警告 設置・使用

禁止

投写レンズをのぞかない
- 強い光が目にあたると、視力障害の原因となります。

禁止

途中でランプ使用時間をリセットしない
- 寿命を超えて使用すると、破裂して火災やけがの原因となります。

禁止

使用直後にランプを交換しない
- ランプが高温になっているため、やけどの原因となります。1時間以上の冷却時間をおいてください。

禁止

通風孔をふさがない
- じゅうたんや布団などの上やテーブルクロスなどをかけて使用すると、内部に熱がこもって、火災の原因となります。
- ランプが冷却されず、破損して、けがの原因となります。

禁止

排気孔にエアコンなどの風を直接あてない
- 内部に熱がこもって、火災の原因となります。

禁止

梱包に使用していたポリ袋などは、小さなお子様の手の届くところに置かない
- 頭からかぶると、窒息の原因となります。

禁止

不安定な場所や荷重に耐えられない場所に置かない
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動、衝撃のあるところ、荷重に耐えられないところなどに置くと、落下、転倒などから、けがの原因となります。
- 本機は、縦置きでの設置は不可です。

禁止

電源コードを傷つけない
- 痛んだまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源プラグはコードの部分を持って抜かない
- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードは付属品を使用する
- 付属品以外のコードを使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

付属の電源コードを他の機器で使用しない
- 火災や感電の原因となります。

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物が入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが痛んだ
- ランプが破裂した
- ファンが動かない

電源スイッチを切る
電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。

禁止

この機器の上に水の入ったものを置かない
- 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

風呂場などの水のある場所で使わない
- 火災や感電の原因となります。

禁止

内部に物や可燃性のガスなどを入れない
- 機器の内部に物や可燃性のガスなどが入ると、火災や感電の原因となります。

分解禁止

分解・改造をしない
- 内部に高電圧の部分があり、火災や感電の原因となります。

禁止

引火・爆発のおそれがある場所で使わない
- 引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

一般的注意

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む
- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。

禁止

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない
- 発熱して、火災の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
- 感電の原因となります。

禁止

電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない
- ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
- 半年に一度は、プラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

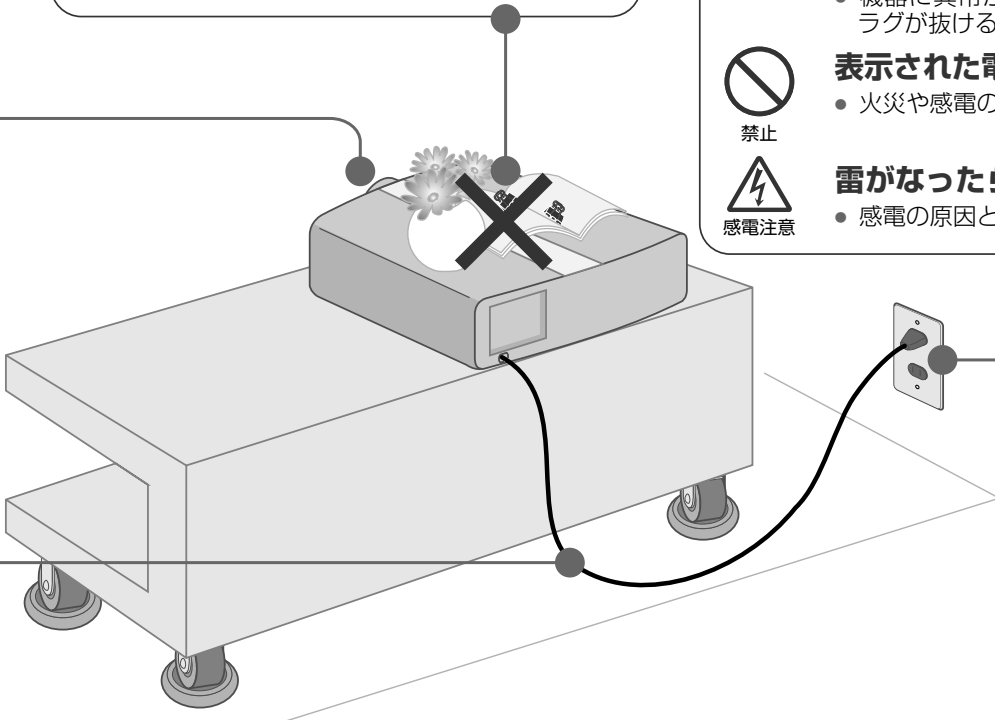
一般的注意

電源プラグは、抜き差ししやすいコンセントに差し込む
- 機器に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

禁止

表示された電源電圧以外では使用しない
- 火災や感電の原因となります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない
- 感電の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意 設置・使用

一般的注意

使用するときは、レンズキャップをはずす

- 熱によりキャップが変形したり、火災の原因となります。

禁止

ランプに衝撃を加えたり、傷つけたりしない

- ランプが破裂して、けがをする原因となります。

禁止

新しいランプのガラス面に触らない

- ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂したりして、けがの原因となります。

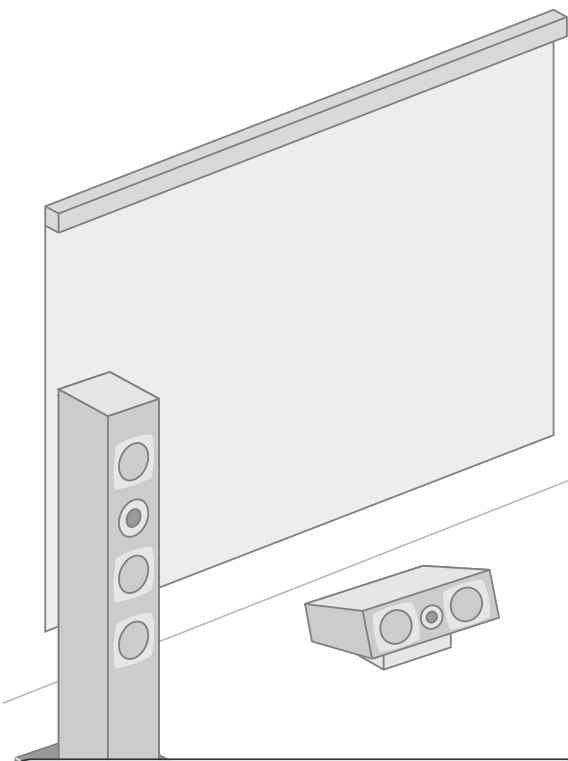
禁止

湿気やほこり、湯気、油煙のあたる場所には置かない

- 油や水分、ほこりなどに電気が流れ、火災や感電の原因となります。

禁止

熱源の近くには置かない

- 機器の変形、劣化のほか、火災の原因となります。

一般的注意

健康のため、1時間ごとに10分〜15分の休憩をとり、目や手を休めてください

一般的注意

1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

壁や他の機器と間隔をあけて設置する

- 放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。また、下図のような寸法で囲うときは、囲った内部が外部と同じ温度になるよう空調を行なってください。

一般的注意

キャスター付きの台に乗せるときは、キャスターを固定する

- 動いたり、倒れたりして、けがの原因となります。

一般的注意

電源コードは、この機器につないでからコンセントにつなぐ

- 感電の原因となります。

アース線をつなぐ

アース線を接続する

- アース線を接続しないと感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

- 電源が「切」でも機器に電気が流れています。安全、節電のために電源プラグを抜いてください。

電源プラグを抜く

ランプ交換やお手入れをするときは電源プラグを抜く

- 安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。

電源プラグを抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

- コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

⚠ 天吊りについての警告・注意

禁止

専門の知識や技術のないかたは設置工事をしない

- 専門の知識や技術が必要です。設置工事は必ず販売店にご依頼ください。専門の知識や技術のないかたが行うと、けがや感電の原因となります。

禁止

振動する場所への天吊り設置はしない

- 振動により取付部分が破損し、落ちたりして、けがをする原因となります。

禁止

ぶらさがったり、ゆすったり、物を引っかけたりしない

- 過度の荷重がかかると、落ちたりして、けがをする原因となります。

乾電池について、次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- **プラス(＋)とマイナス(－)のまちがい**
- **違う種類や一度使用した電池を混ぜる**
- **電極のショート**
- **加熱、分解および水中もしくは火中へ入れる**
- **充電する**

誤った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などでけが、火災の原因となります。
長時間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。
万一、液漏れしたら、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってください。
液が身体、衣服などに付いたときは、水でよく洗い流してください。
電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。

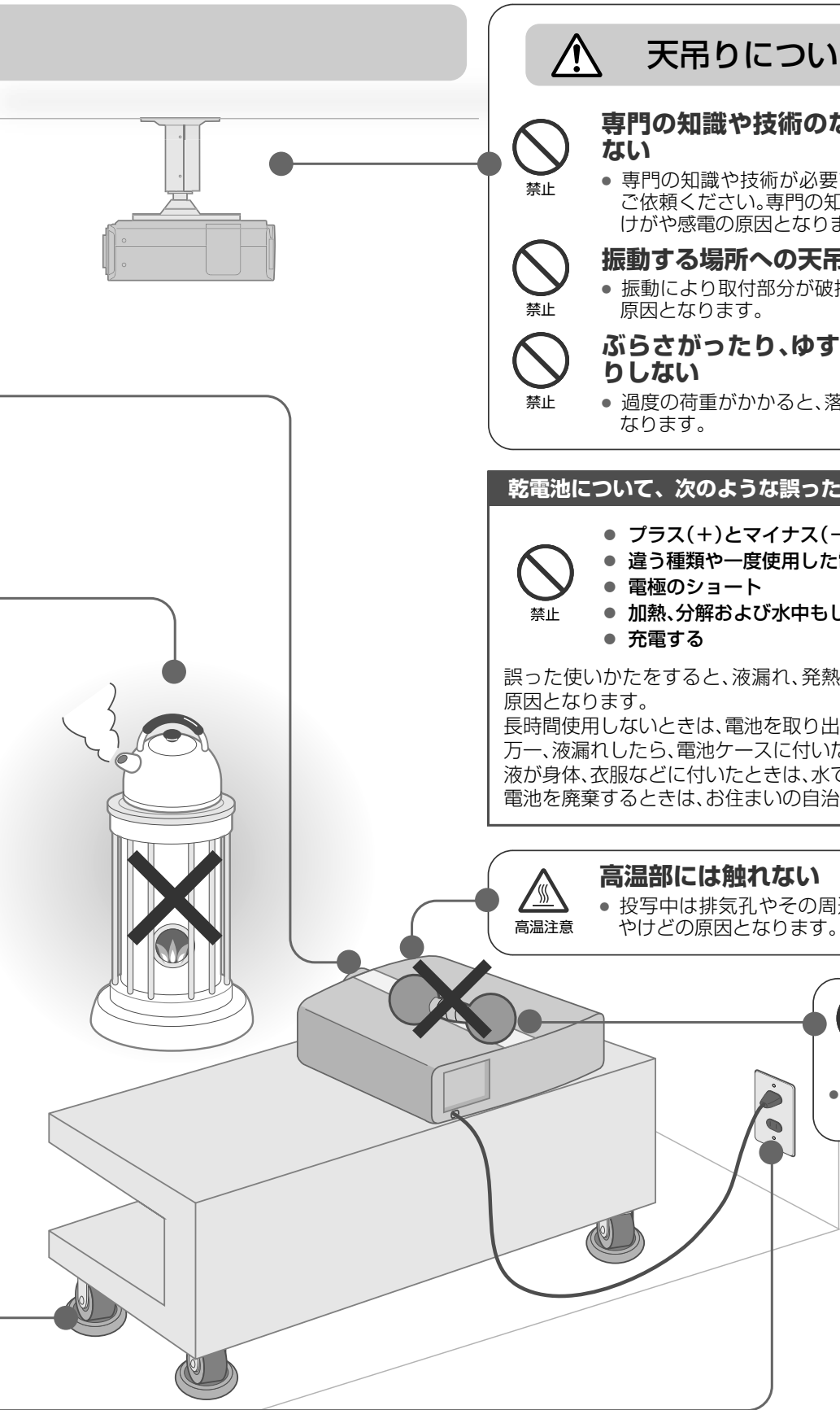
高温注意

高温部には触れない

- 投写中は排気孔やその周辺部には触れないでください。やけどの原因となります。

禁止

この機器の上に重い物を置いたり、乗ったりしない

- けがの原因や、変形して火災や感電の原因となります。

各部のなまえとはたらき

赤に点灯：
待機中(スタンバイ状態)のとき

緑に点灯：
投写しているとき

緑に点滅：
映像を一時的に消したとき
(📖P21)

赤に点滅：
冷却中(クールダウンモード)のとき(📖P21)

入力を切り換える(📖P20)

メニューを表示する(📖P24)

WARNING

LAMP

STANDBY/ON

⏻/I STANDBY/ON

INPUT

HIDE

MENU

EXIT

ENTER

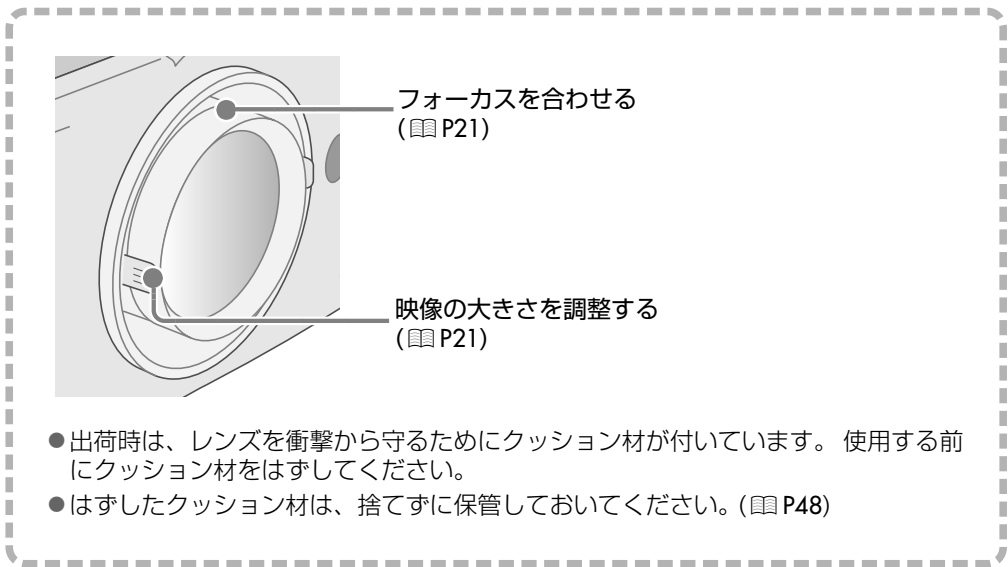
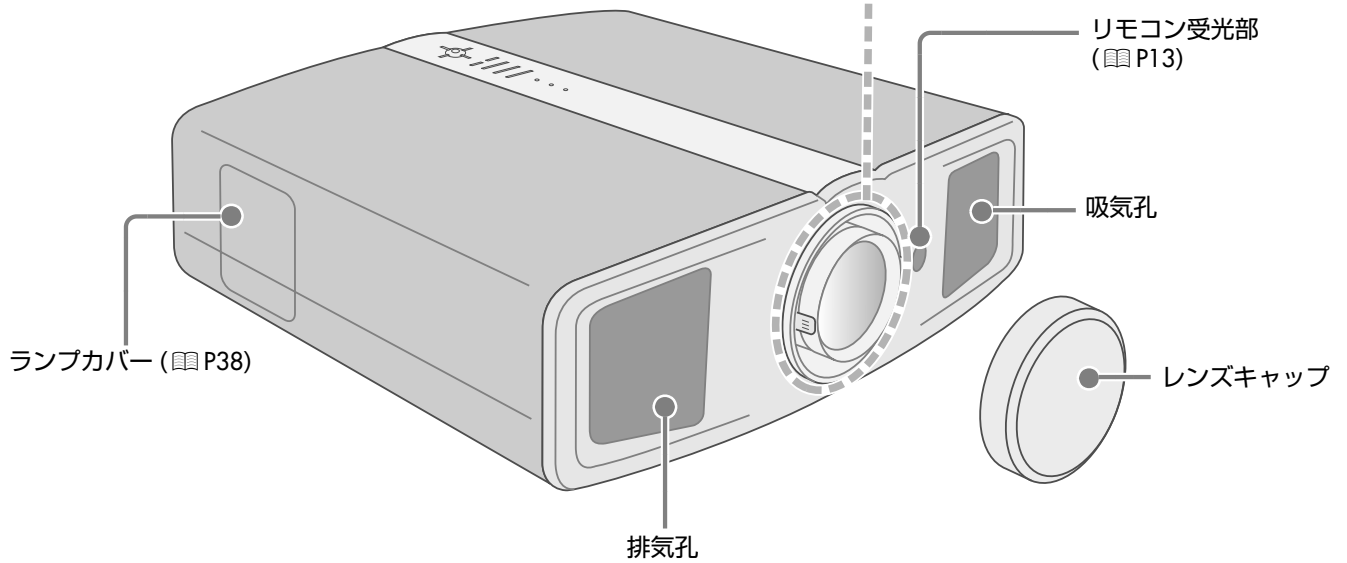
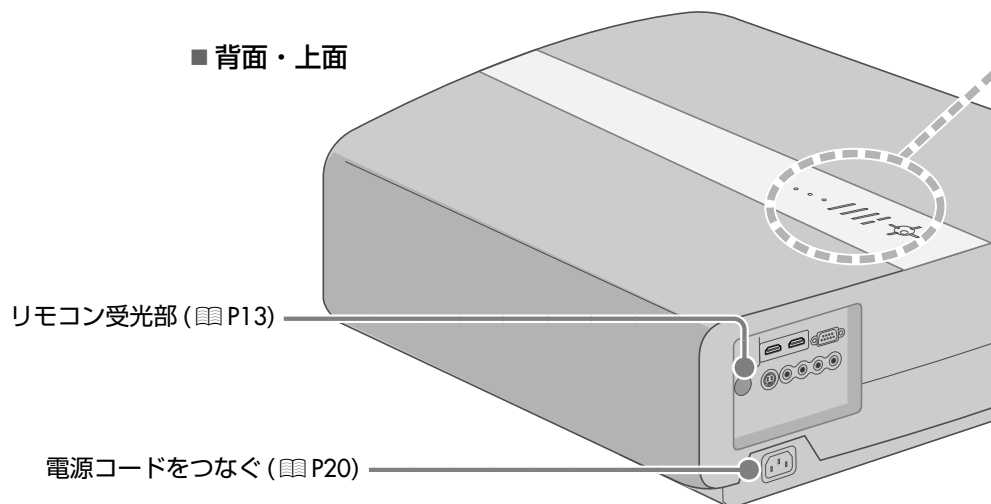
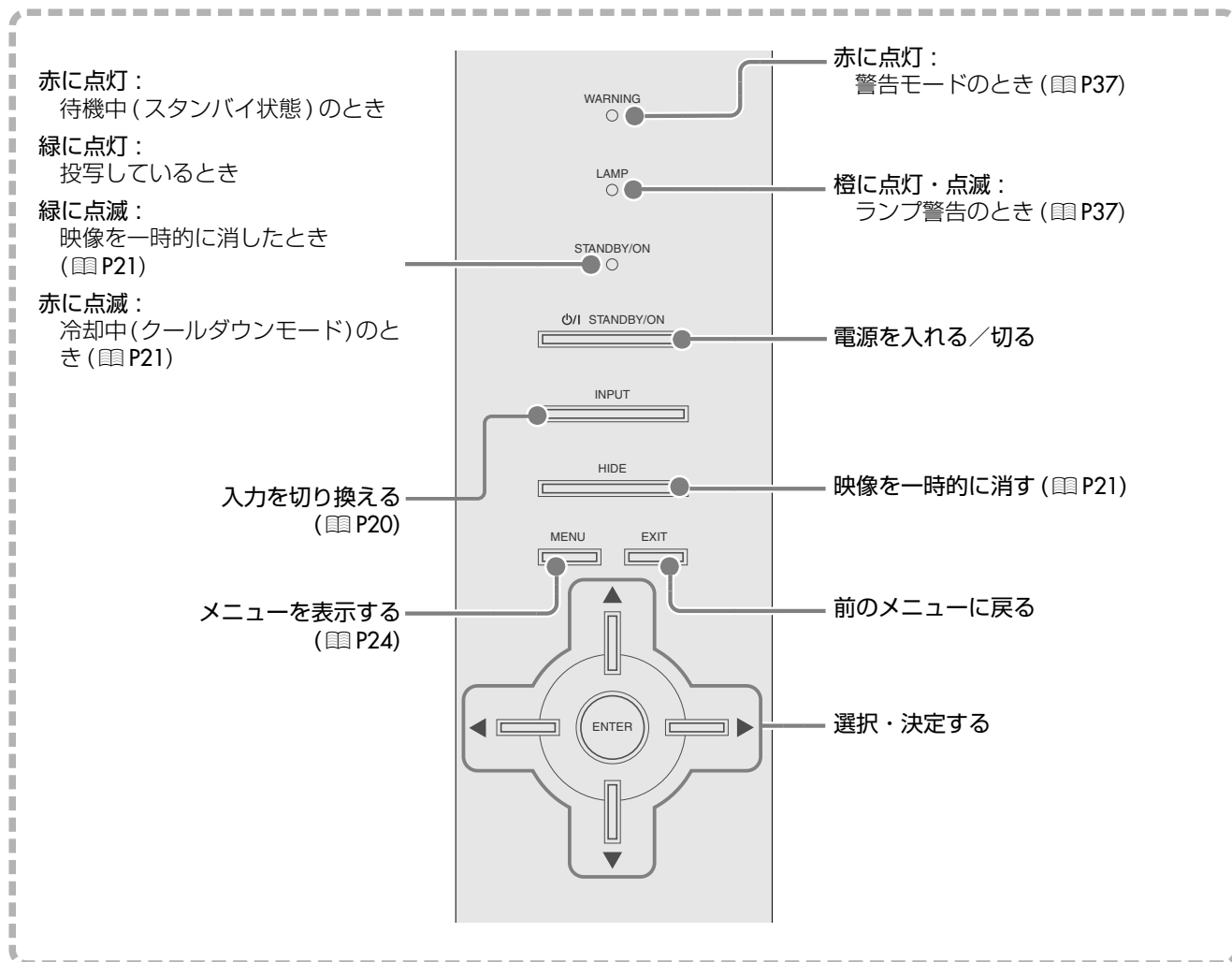
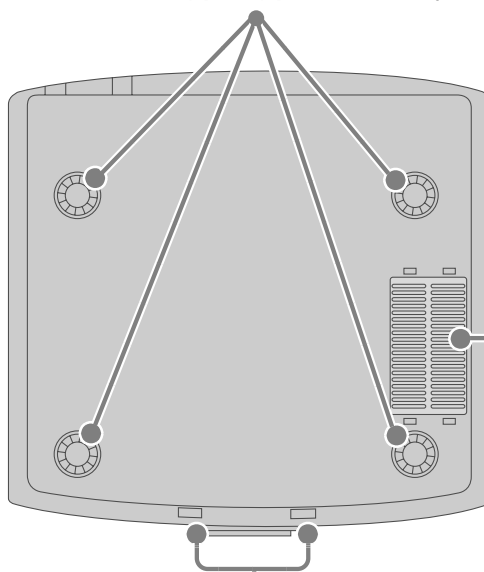
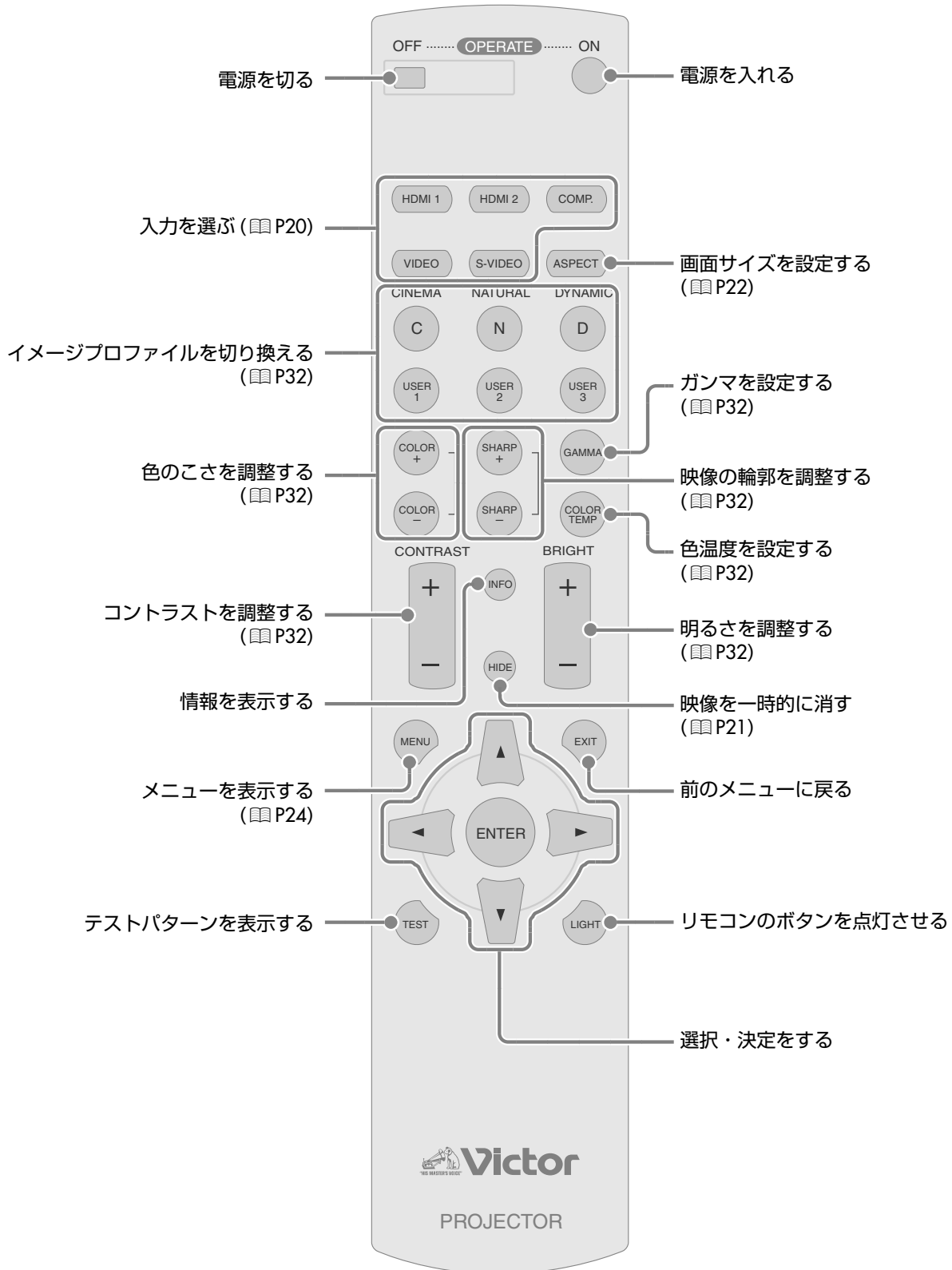
赤に点灯：
警告モードのとき(📖P37)

橙に点灯・点滅：
ランプ警告のとき(📖P37)

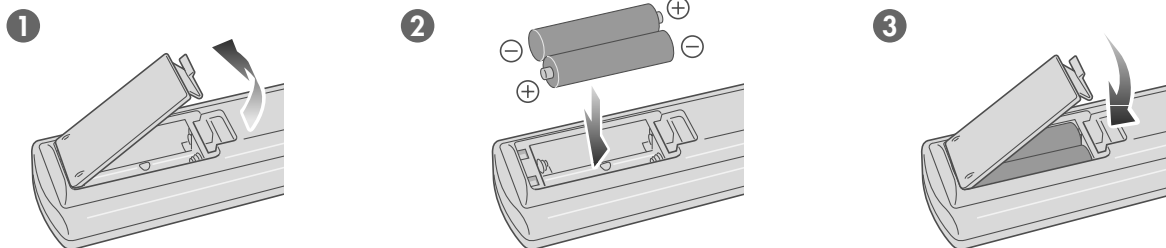
電源を入れる／切る

映像を一時的に消す(📖P21)

前のメニューに戻る

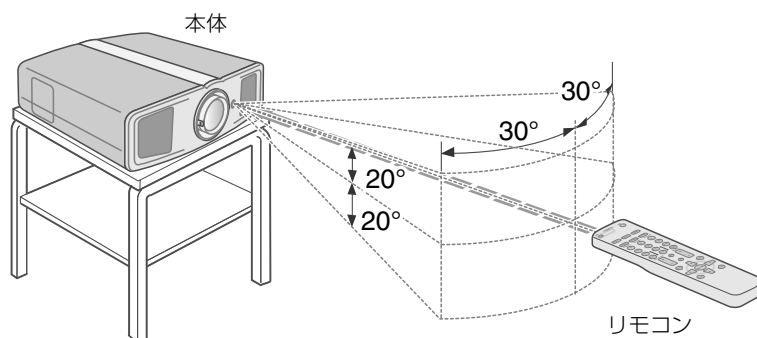
選択・決定する

各部のなまえとはたらき（つづき）

■リモコン

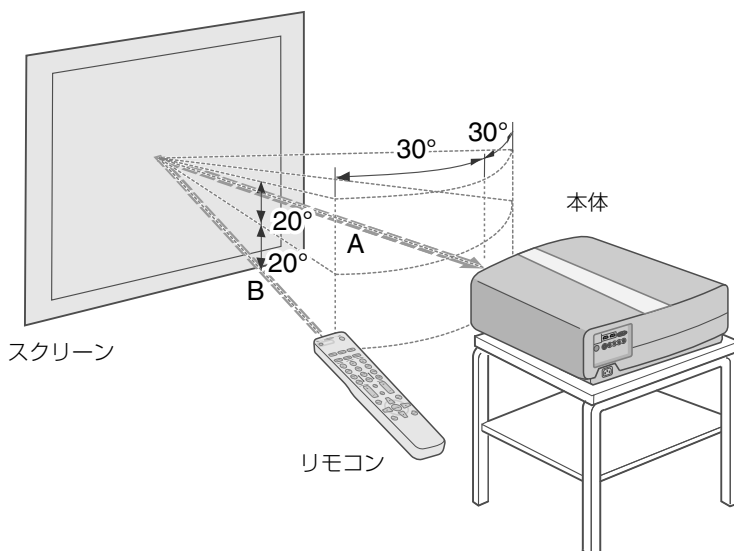
リモコンの使いかた

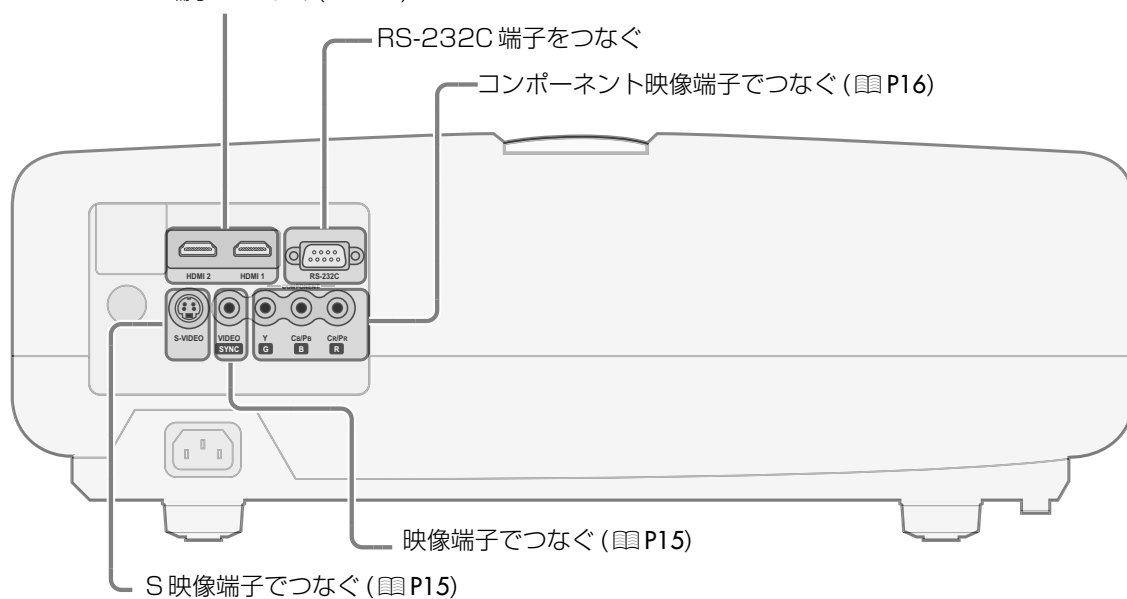
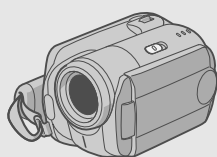
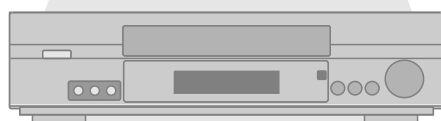
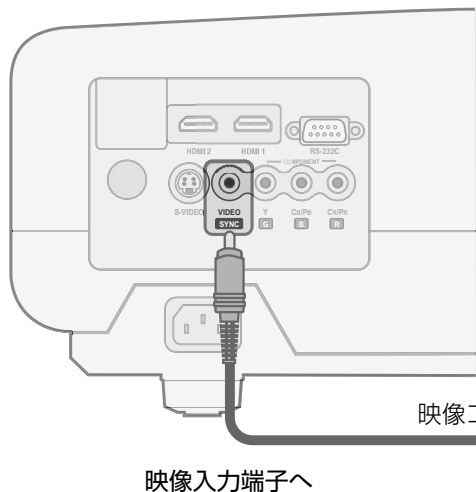
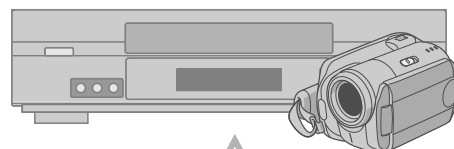
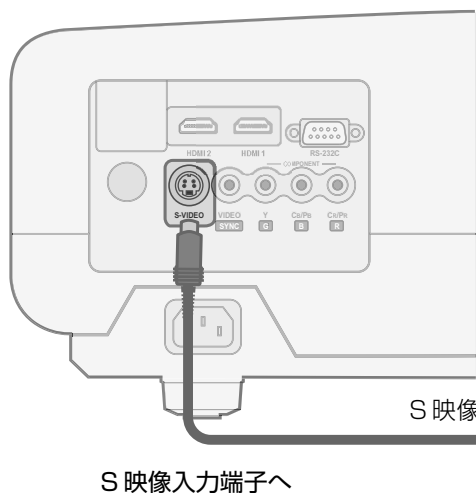
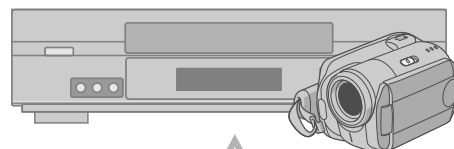
電池の入れかた

❶
❷
❸
- リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。⊕⊖の向きを表示どおり正しく入れてください。
- 乾電池を入れるときは ⊖ 側から入れてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を取り出し、5 分ぐらいたってからもう一度乾電池を入れて操作してください。

リモコンの操作範囲

■直接本体に向けて使うときは

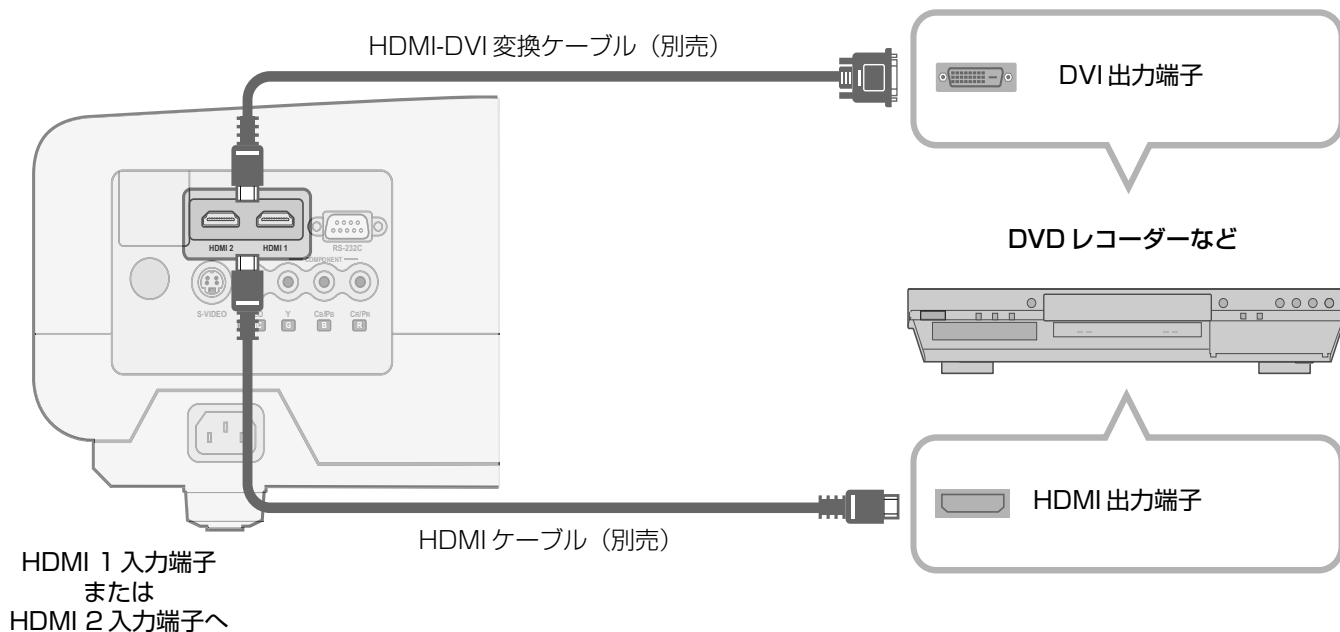
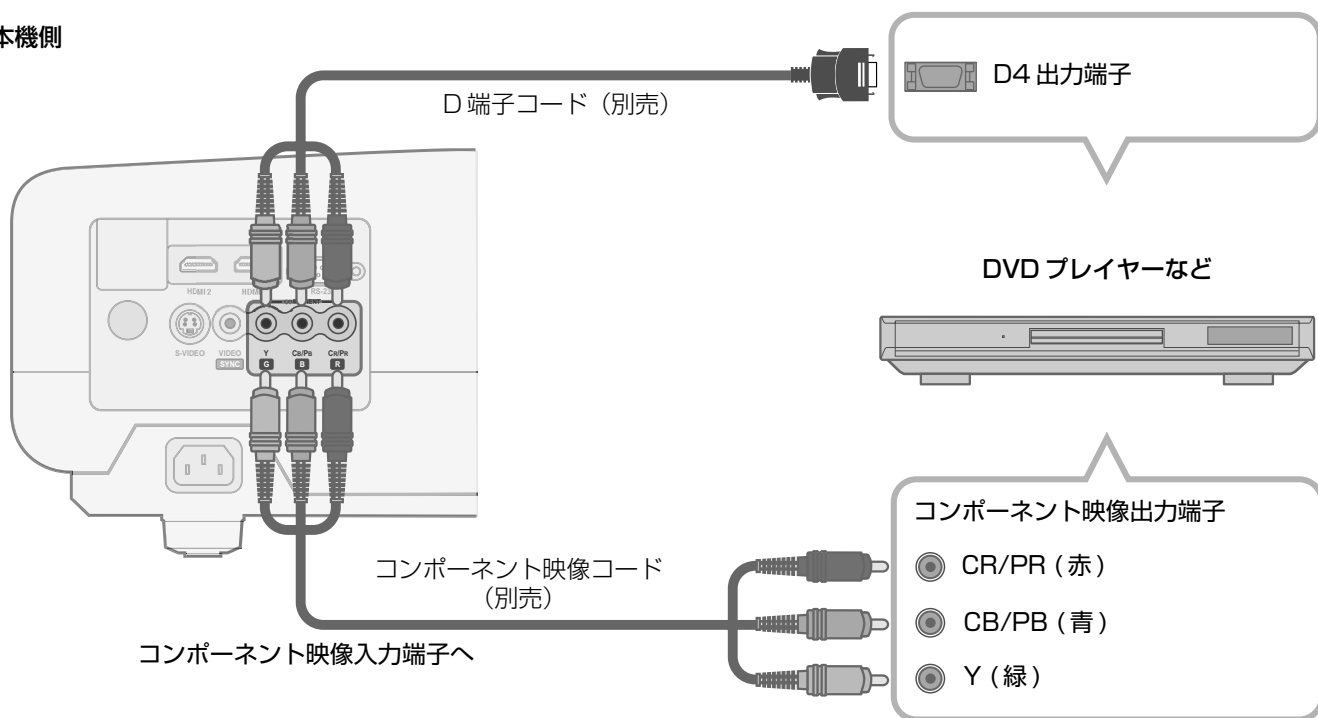
- リモコン受光部(前面·背面)に対して7 m以内でお使いください。
- 操作できないときは、近づけてください。

■スクリーンなどに反射させて使うときは

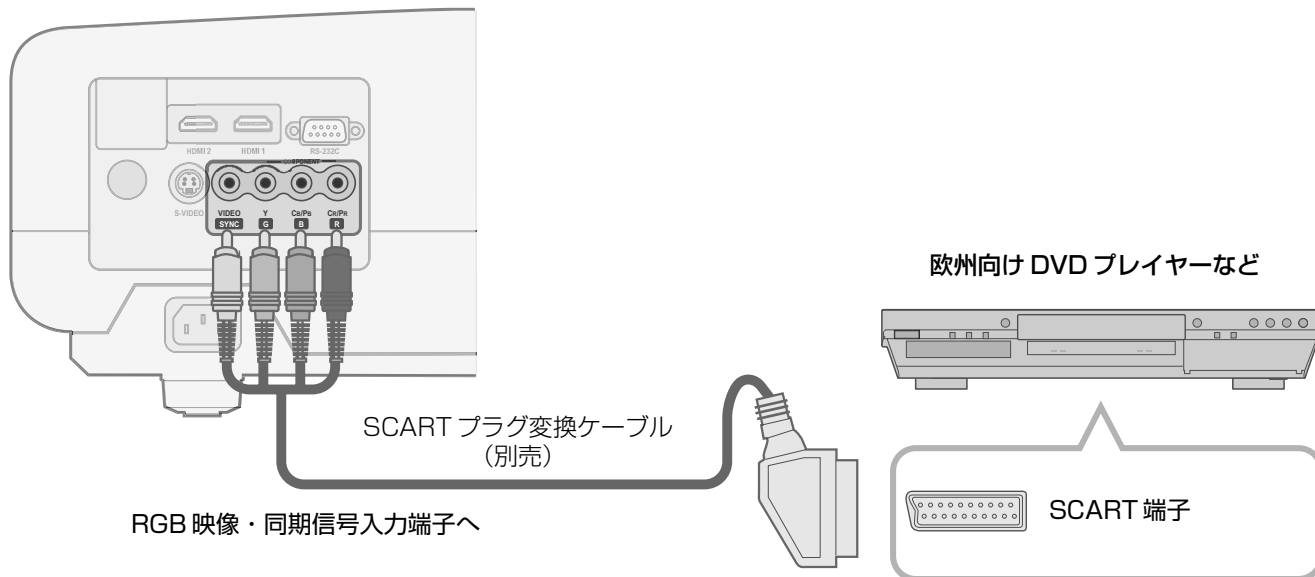
- 本体とスクリーンの距離 A とリモコンとスクリーンの距離Bの合計が7 m以内になるようにしてください。
- ご使用になるスクリーンの種類によって、リモコン信号の反射する効率が異なるため、操作できる距離が短くなることがあります。

つなぐ機器を選ぶ

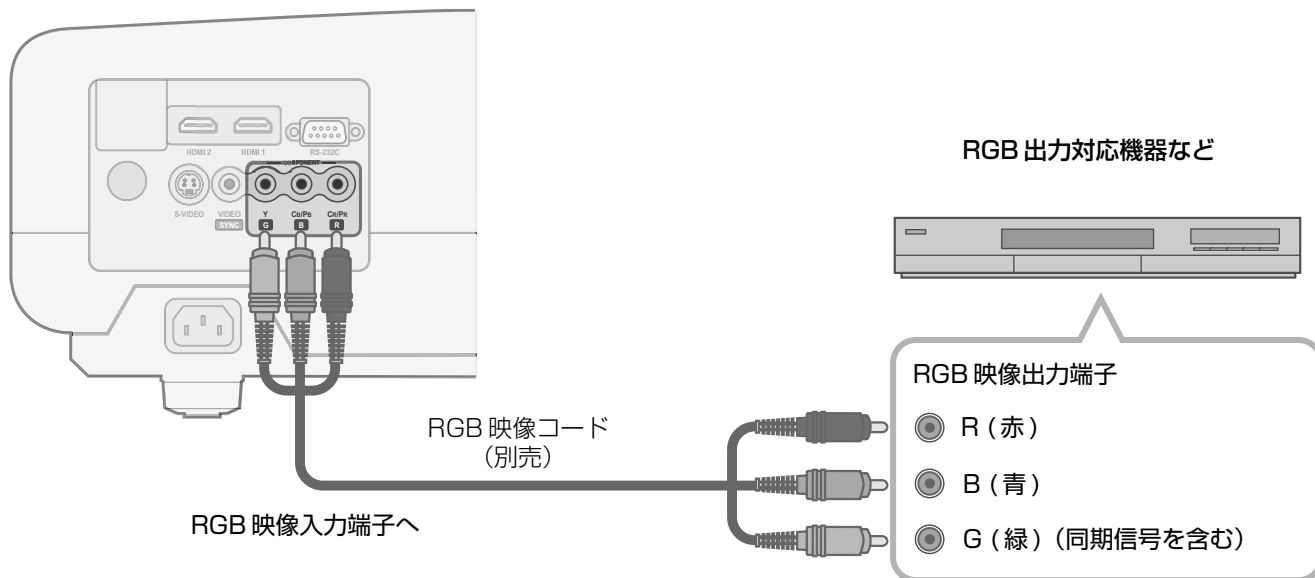
- 接続が終わるまで、電源を入れないでください。
- ご使用の機器によって接続のしかたが異なります。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- 接続する機器の音声出力は、アンプなどに接続してください。
- **接続する機器やケーブル、コードによっては、映像が表示されない場合があります。**
  HDMI ケーブル（別売）は、HDMI ロゴを取得したものを使用してください。
- 接続するケーブル、コードの端子カバーサイズによっては、接続ができない場合があります。

接続する

映像コードでつなぐ

S 映像コードでつなぐ

接続する(つづき)

HDMIケーブルやHDMI-DVI変換ケーブルでつなぐ

コンポーネント映像コードやD端子コードでつなぐ

●設定メニューの「COMP」を「Y Pb/Cb Pr/Cr」にしてください。(📖P27 - 16)

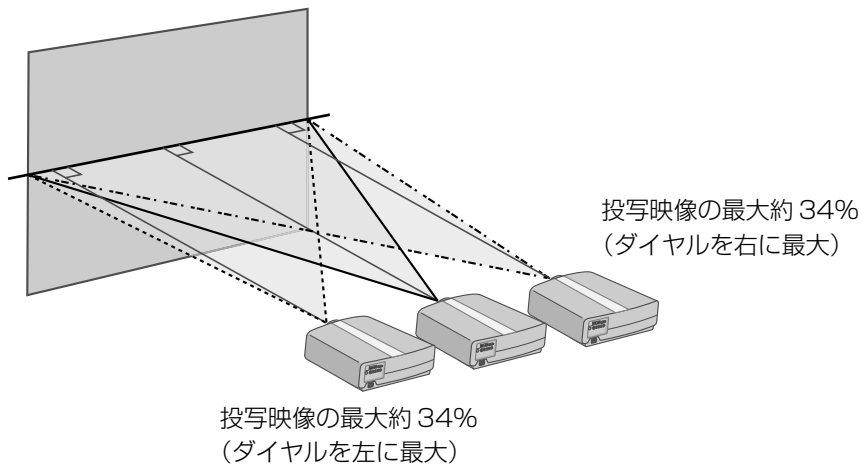
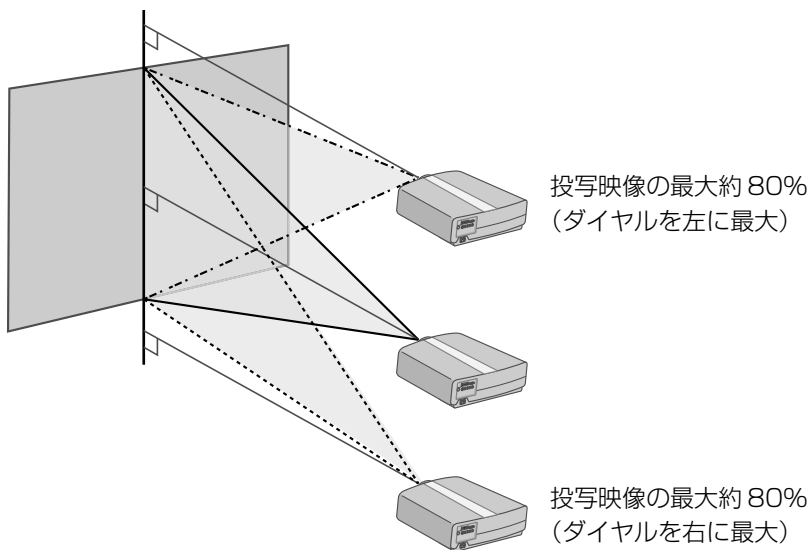
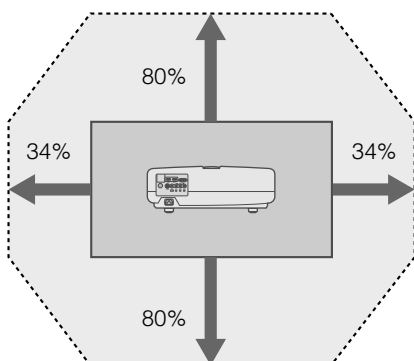
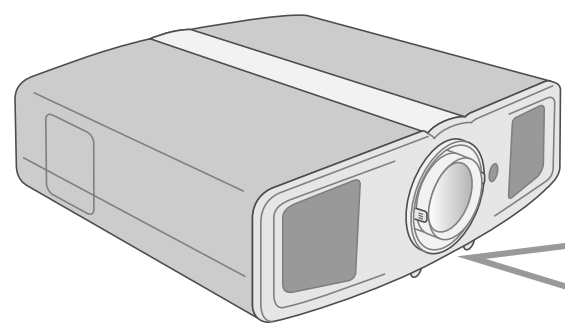
SCART プラグ変換ケーブルでつなぐ

●設定メニューの「COMP」を「SCART」にしてください。(P27 - 16)

RGB 映像コードでつなぐ

●設定メニューの「COMP」を「RGB」にしてください。(P27 - 16)
●対応入力信号については「主な仕様」をご覧ください。(P50)

プロジェクターとスクリーンを設置する

本機とスクリーンを設置します。本機とスクリーンを直角に設置してください。直角に設置しないと、映像が台形にひずみます。

設置します

■左右の位置
＊上下の位置は 0%（中央）

■上下の位置
＊左右の位置は 0%（中央）

■投写映像の移動範囲

2 映像がスクリーンの中央にくるように調整します

●映像位置を調整したあとに設定メニューの「画素調整」が必要になる場合があります。(P26 - 10)

画面サイズと投写距離

お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
本機の投写レンズは 2.0 倍手動ズームレンズです。

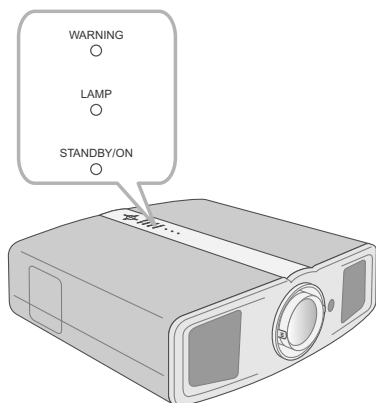
■投写画面サイズと投写距離

投写画面サイズ(対角線の長さ)アスペクト比 16:9	おおよその投写距離 W(ワイド端)~T(テレ端)
60 型(約 1.52 m)	約 1.78 m ~ 約 3.63 m
70 型(約 1.78 m)	約 2.09 m ~ 約 4.24 m
80 型(約 2.03 m)	約 2.40 m ~ 約 4.86 m
90 型(約 2.29 m)	約 2.71 m ~ 約 5.47 m
100 型(約 2.54 m)	約 3.01 m ~ 約 6.08 m
110 型(約 2.79 m)	約 3.32 m ~ 約 6.70 m
120 型(約 3.05 m)	約 3.63 m ~ 約 7.31 m
130 型(約 3.30 m)	約 3.93 m ~ 約 7.93 m

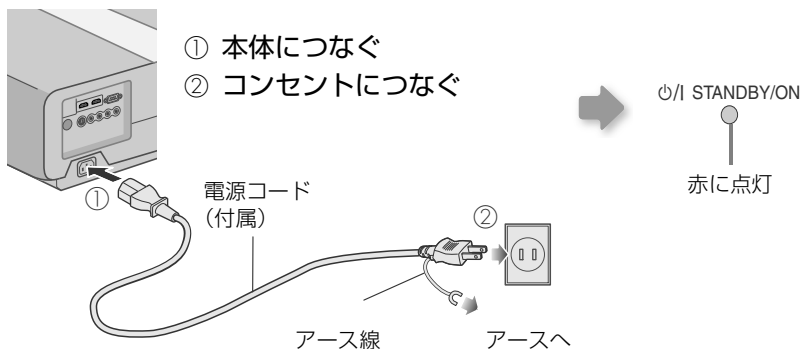
投写画面サイズ(対角線の長さ)アスペクト比 16:9	おおよその投写距離 W(ワイド端)~T(テレ端)
140 型(約 3.56 m)	約 4.24 m ~ 約 8.54 m
150 型(約 3.81 m)	約 4.55 m ~ 約 9.16 m
160 型(約 4.06 m)	約 4.86 m ~ 約 9.77 m
170 型(約 4.32 m)	約 5.16 m ~ 約 10.38 m
180 型(約 4.57 m)	約 5.47 m ~ 約 11.00 m
190 型(約 4.83 m)	約 5.78 m ~ 約 11.61 m
200 型(約 5.08 m)	約 6.08 m ~ 約 12.23 m

●表中の距離はあくまでも目安です。設置するときの参考としてご利用ください。
●設置調整するときは、アスペクト比 16:9 の投写映像をご使用ください。

映像を投写する

入力した映像をスクリーンに投写する基本操作です。

準備

● レンズキャップをはずします。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

● 電源プラグをコンセントにつなぐ前に、必ずアース線を接続してください。

2 電源を入れます

● 本体の [STANDBY/ON] ボタンを押しても電源が入ります。(P11)

3 投写します

1 入力を選びます

● 本体の [INPUT] ボタンを押しても選べます。(P11)

2 選んだ機器を再生します

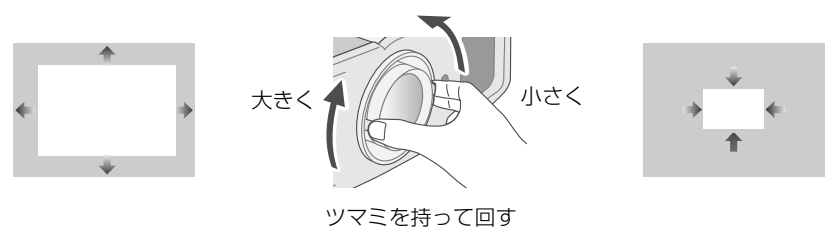
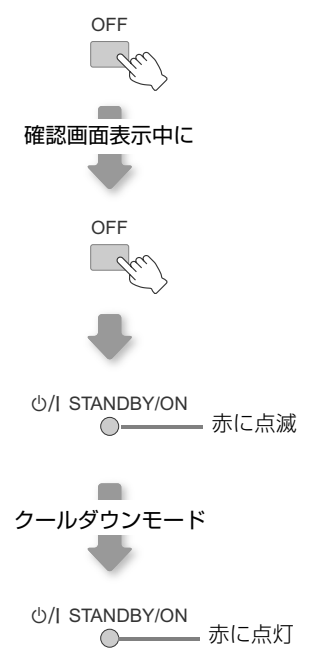
4 投写画面の位置を調整します

● 位置調整のしかたは、「プロジェクターとスクリーンを設置する」をご覧ください。(P18)

5 映像の大きさ（ズーム）を調整します

ツマミを持って回す

6 フォーカス（焦点）を合わせます

リングを回して合わせる

7 電源を切ります

- 本機の電源を入れて約90秒間は電源を切ることができません。90秒以上経過してから操作してください。
- 本体の [STANDBY/ON] ボタンを押しても電源が切れます。(📖P11)
- 使用後は、レンズ汚れ防止のためにレンズキャップを取り付けてください。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ONE POINT

映像を一時的に消すことができます

映像を一時的に消すことができます。

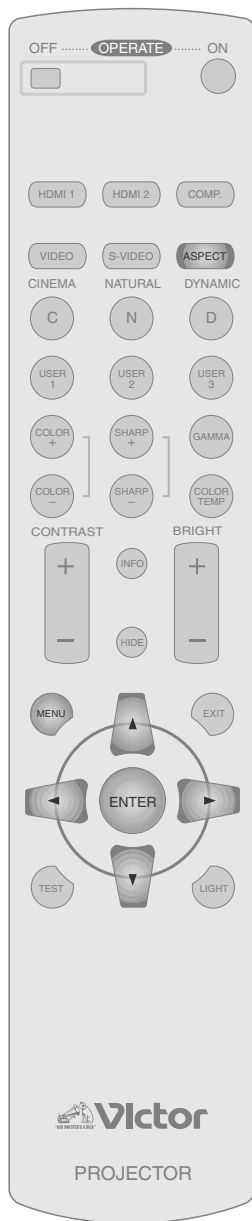
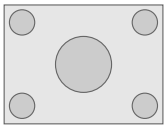
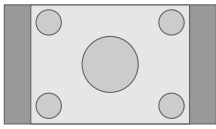
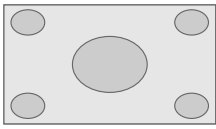
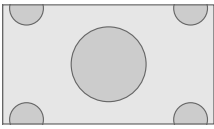
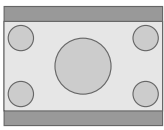
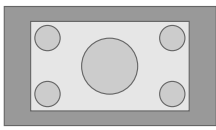
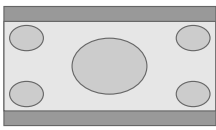
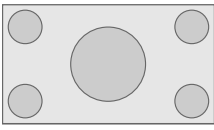
- もう一度 [HIDE] ボタンを押すと、映像が表示されます。
- 映像を一時的に消しているときは、電源を切ることができません。

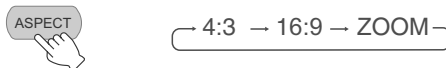
MEMO

クールダウンモードについて

- クールダウンモードとは、投写終了後に約60秒間ランプを冷却する機能です。
  この機能は、過熱したランプの熱で本機内部の変形や破損を防いだり、ランプの破裂やランプの寿命が短くなることを防ぎます。
- クールダウンモード中は、[STANDBY/ON] インジケーターが赤く点滅します。
- クールダウンモードが終了すると、自動的にスタンバイ状態になります。
- クールダウンモード中は、電源プラグを抜かないでください。ランプの寿命が短くなったり、故障の原因になります。

投写中の便利な機能

投写した映像の画面サイズを変更したり、外側部分の画質が劣化した映像の周りを隠すことができます。

画面サイズを設定する

投写した映像を最適な画面サイズ (アスペクト比) に設定できます。

→4:3 → 16:9 → ZOOM

- 画面サイズは、設定メニューの「アスペクト」からも設定することができます。(P28 - 18)
- ハイビジョン映像を入力したときは、「16:9」に固定されます。

■画面サイズ設定による入力映像と投写映像について

入力映像	画面サイズ		
	4:3	16:9	ズーム
SDTV(4:3)	アスペクト比 : 同じ 最適な画面サイズ	アスペクト比 : 横長 映像が横伸びになる	アスペクト比 : 同じ 映像の上下が欠ける
SDTV(4:3) DVD ソフトなどの横長 (上下に黒帯) に記録されている映像	アスペクト比 : 同じ 映像が大きく映らない	アスペクト比 : 横長 映像が横伸びになる	アスペクト比 : 同じ 最適な画面サイズ

- 入力映像によっては、「4:3」で縦長映像となり、「16:9」に設定することで最適な画面サイズになる場合があります。

映像の周囲をマスクする

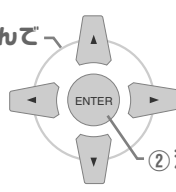
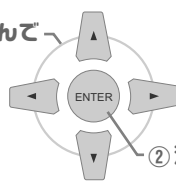
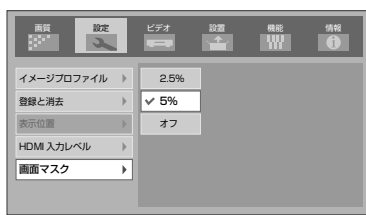
外側部分の画質が劣化している映像を投写する場合、映像の周囲を黒くマスク (隠す) することができます。

映像を投写します

⬅外側部分の画質が劣化している映像

2 映像をマスクします

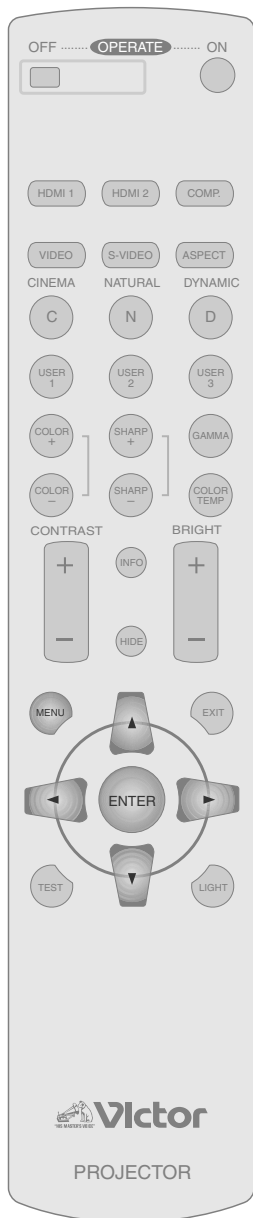
1 設定メニューを表示します

2「設定」➡「画面マスク」を選びます

3 マスクの値を設定します

《例》
「画面マスク」の値を「オフ」➡「5%」に変更した場合

3 終了します

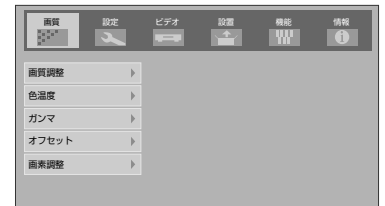
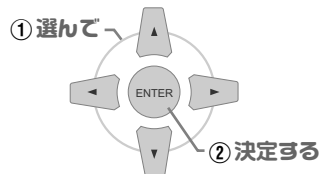
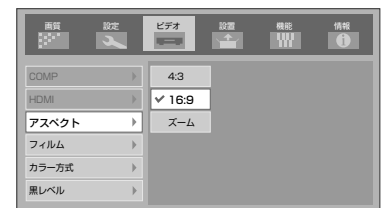
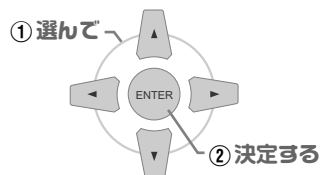
- ハイビジョン映像を入力したときのみ、マスクを設定できます。

設定メニュー

初期設定を変更することにより、お好みの映像に調整できます。

メニュー操作のしかた

《例》

「アスペクト」を「4:3」から「16:9」にした場合

1 設定メニューを表示します

2 「ビデオ」➡「アスペクト」を選びます

3 「16:9」に設定します

4 終了します

設定メニュー

[■] はお買い上げ時の設定です。
●入力している信号によって設定できる項目が異なります。

画質＞画質調整
01 コントラスト
映像のコントラストを調整します。
（黒っぽく） −30 ～ 30 （白っぽく）
02 明るさ
映像の明るさを調整します。
（暗く） −30 ～ 30 （明るく）
03 色のこさ
映像の色の濃さを調整します。
（薄く） −30 ～ 30 （濃く）
04 色あい
映像の色あいを調整します。
（赤っぽく） −30 ～ 30 （緑っぽく）
05 シャープネス
映像の輪郭を調整します。
（やわらか） −30 ～ 30 （はっきり）
06 DNR
映像のノイズ除去の強さを調整します。
（弱い） 0 ～ 30 （強い）

●「コントラスト」、「明るさ」、「色のこさ」、「シャープネス」はリモコンからも設定できます。(📖P12)
●「色あい」はNTSC信号を映像入力端子、またはS映像入力端子に入力したときのみ調整できます。

画質＞色温度		
07 色温度		
映像の色温度を設定します。		
低	赤っぽい映像にしたいときに設定します。	
中	バランスの良い映像にしたいときに設定します。	
高	青っぽい映像にしたいときに設定します。	
ユーザー 1*	Red	（赤を弱く） −255 ～ 0 （赤を強く）
	Green	（緑を弱く） −255 ～ 0 （緑を強く）
	Blue	（青を弱く） −255 ～ 0 （青を強く）
ユーザー 2*	Red	（赤を弱く） −255 ～ 0 （赤を強く）
	Green	（緑を弱く） −255 ～ 0 （緑を強く）
	Blue	（青を弱く） −255 ～ 0 （青を強く）

＊赤味、緑味、青味をそれぞれ調整し、登録できます。
●リモコンからも設定できます。(📖P12)

設定メニュー（つづき）

画質＞ガンマ

08 ガンマ

映像の階調特性を設定します。

ノーマル	通常はこの設定にします。
A	ガンマを「A」に設定します。
B	ガンマを「B」に設定します。
C	ガンマを「C」に設定します。

●通常は「ノーマル」が適していますが、お好みによって「A」、「B」、「C」に設定することができます。
●リモコンからも設定できます。(📖 P12)

画質＞オフセット

09 オフセット

暗部の赤、緑、青の明るさをそれぞれ調整します。（オフセットレベル）

Red	（赤を弱く） −30 ～ 30 （赤を強く）
Green	（緑を弱く） −30 ～ 30 （緑を強く）
Blue	（青を弱く） −30 ～ 30 （青を強く）

画質＞画素調整

10 画素調整

映像の水平方向/垂直方向のわずかな色ずれをそれぞれを 1 ピクセル単位で微調整します。

水平 Red	（赤を左に移動） 1 ～ 7 （赤を右に移動）
水平 Green	（緑を左に移動） 1 ～ 7 （緑を右に移動）
水平 Blue	（青を左に移動） 1 ～ 7 （青を右に移動）
垂直 Red	（赤を下に移動） 1 ～ 5 （赤を上に移動）
垂直 Green	（緑を下に移動） 1 ～ 5 （緑を上に移動）
垂直 Blue	（青を下に移動） 1 ～ 5 （青を上に移動）

●映像を左右反転、または上下反転したときは、水平方向、垂直方向が逆になります。
●調整するときは、輪郭のはっきりした静止映像で行なってください。
●微調整のため、映像によっては調整効果がわかりづらい場合があります。

設定＞イメージプロファイル

11 イメージプロファイル

イメージプロファイルを設定します。(📖 P32)

シネマ	暗い部屋で、映画向けの画質で見るときに設定します。
ナチュラル	暗い部屋で、投写する映像の画質をそのままで見るときに設定します。
ダイナミック	やや明るい部屋で、メリハリのある画質で見るときに設定します。
ユーザー 1	「ユーザー 1」に登録したイメージプロファイルに設定します。
ユーザー 2	「ユーザー 2」に登録したイメージプロファイルに設定します。
ユーザー 3	「ユーザー 3」に登録したイメージプロファイルに設定します。

●リモコンからも設定できます。(📖 P12)

設定＞登録と消去	
⑫ **登録と消去**	
イメージプロファイルの登録と消去をします。	
ユーザー 1 に登録	「ユーザー 1」にイメージプロファイルを登録します。
ユーザー 2 に登録	「ユーザー 2」にイメージプロファイルを登録します。
ユーザー 3 に登録	「ユーザー 3」にイメージプロファイルを登録します。
ユーザー 1 を消去	「ユーザー 1」のイメージプロファイルを出荷時の値（ナチュラル）に戻します。
ユーザー 2 を消去	「ユーザー 2」のイメージプロファイルを出荷時の値（ナチュラル）に戻します。
ユーザー 3 を消去	「ユーザー 3」のイメージプロファイルを出荷時の値（ナチュラル）に戻します。
シネマをリセット	「シネマ」のイメージプロファイルを出荷時の値に戻します。
ナチュラルをリセット	「ナチュラル」のイメージプロファイルを出荷時の値に戻します。
ダイナミックをリセット	「ダイナミック」のイメージプロファイルを出荷時の値に戻します。

●「イメージプロファイル」に登録されるのは、「コントラスト」、「明るさ」、「色のこさ」、「シャープネス」、「DNR」、「色温度」、「ガンマ」、「オフセット」の項目です。

設定＞表示位置
⑬ **表示位置**
映像の水平位置 / 垂直位置を調整します。

●表示位置の値は、入力信号によって異なります。
●アナログ映像信号を入力したときのみ設定できます。

設定＞ HDMI 入力レベル	
⑭ **HDMI 入力レベル**	
HDMI 入力端子の入力レベルの設定をします。	
スタンダード	通常はこの設定にします。
エンハンス	DVI 機器などの RGB 映像信号を入力したときに、映像の黒白がはっきりしていないときに設定します。

●HDMI 入力を投写しているときのみ設定できます。

設定＞画面マスク	
⑮ **画面マスク**	
映像の外側部分を黒くマスク (隠す) します。	
2.5%	2.5 % の画面マスクをします。
5%	5 % の画面マスクをします。
オフ	画面マスクをしません。

●ハイビジョン映像を入力したときのみ設定できます。

ビデオ＞ COMP	
⑯ **COMP**	
コンポーネント映像入力端子の入力信号を設定します。	
Y Pb/Cb Pr/Cr	コンポーネント映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB 映像信号を入力するときに設定します。
SCART	欧州向け SCART プラグから RGB 映像信号と同期信号を入力するときに設定します。

●コンポーネント映像入力を投写しているときのみ設定できます。

設定メニュー（つづき）

ビデオ > HDMI	
17 HDMI	
HDMI 入力端子の入力信号を設定します。	
オート	入力信号を自動で設定します。
YCbCr(4:4:4)	Y Cb Cr (4:4:4) 映像信号を入力するときに設定します。
YCbCr(4:2:2)	Y Cb Cr (4:2:2) 映像信号を入力するときに設定します。
RGB	RGB 映像信号を入力するときに設定します。

●HDMI 入力を投写しているときのみ設定できます。

ビデオ >アスペクト	
18 アスペクト	
映像の画面サイズ (アスペクト比) を設定します。	
4:3	映像の画面サイズを 4:3 にします。
16:9	映像の画面サイズを 16:9 にします。
ズーム	映像をズームします。

●ハイビジョン映像を入力したときは、「16:9」に固定されます。
●リモコンからも設定できます。(P12, 22)

ビデオ >フィルム	
19 フィルム	
フィルム撮影された映画などをご覧になるときに設定します。	
オート	通常はこの設定にします。
オフ	フィルム撮影された映画などをご覧にならないときに設定します。

ビデオ >カラー方式	
20 カラー方式	
カラー方式を設定します。	
オート	カラー方式を自動で設定します。
NTSC	カラー方式が NTSC のときに設定します。
NTSC4.43	カラー方式が NTSC4.43 のときに設定します。
PAL	カラー方式が PAL のときに設定します。
PAL-M	カラー方式が PAL-M のときに設定します。
PAL-N	カラー方式が PAL-N のときに設定します。
SECAM	カラー方式が SECAM のときに設定します。

●映像入力、または S 映像入力を投写しているときのみ設定できます。

ビデオ >黒レベル	
21 黒レベル	
黒レベルを設定します。	
0 %	通常はこの設定にします。
7.5 %	映像の暗部が白っぽく浮いて見えるときに設定します。

●NTSC 信号を映像入力端子、または S 映像入力端子に入力したときのみ調整できます。

設置>メニュー位置	
22 メニュー位置	
メニューの表示位置を設定します。	
上左	画面の左上に表示します。
上中	画面の上部中央に表示します。
上右	画面の右上に表示します。
中左	画面の中央左寄りに表示します。
中央	画面の中央に表示します。
中右	画面の中央右寄りに教示します。
下左	画面の左下に表示します。
下中	画面の下部中央に表示します。
下右	画面の右下に表示します。

設置>メニュー表示	
23 メニュー表示	
メニューを表示させたときの時間を設定します。	
15秒	15秒間、表示します。
オン	常に表示します。

設置>ライン表示	
24 ライン表示	
入力を切り換えたとき、入力表示をするかしないかを設定します。	
5秒	5秒間、表示します。
オフ	表示しません。

設置>左右反転	
25 左右反転	
スクリーンの裏側から投写したときやプロジェクターを天吊りしたときに設定します。	
オン	映像を左右反転します。
オフ	映像を左右反転しません。

設置>上下反転	
26 上下反転	
プロジェクターを天吊りしたときに設定します。	
オン	映像を上下反転します。
オフ	映像を上下反転しません。

設定メニュー（つづき）

設置＞高地モード		
27 高地モード		
気圧の低い場所（海抜 900m 以上）で使用するときに設定します。		
	オン	設定します。
	オフ	設定しません。

機能＞バックカラー		
28 バックカラー		
入力信号がないときに表示する画面の色を設定します。		
	青	画面を「青」にします。
	黒	画面を「黒」にします。

機能＞スリープタイム		
29 スリープタイム		
入力信号がないとき、自動的にスタンバイ状態になる時間を設定します。		
	15	15 分経つとスタンバイ状態になります。
	30	30 分経つとスタンバイ状態になります。
	60	60 分経つとスタンバイ状態になります。
	オフ	スタンバイ状態になりません。

機能＞ D-ILA ロゴ		
30 D-ILA ロゴ		
起動するときに「D-ILA ロゴ」を表示するかしないかを設定します。		
	オン	5 秒間、表示します。
	オフ	表示しません。

機能＞ランプパワー		
31 ランプパワー		
光源ランプの出力を設定します。		
	標準	通常はこの設定にします。(170 W)
	高	部屋がやや明るく、映像が見にくいときに設定します。(200 W)

- ランプパワーを変更しても、ランプ使用時間 (ランプの寿命) は変わりません。
- 本機の電源を入れたあとの約 90 秒間は、設定を変更することはできません。
- 設定を変更したあとの約 60 秒間は、設定を変更することはできません。

機能＞テストパターン
32 テストパターン
6 種類のテストパターンを表示します。

- リモコンから表示することもできます。(📖 P12)

情報
33 入力
現在選択されている映像入力を表示します。
34 ソース
現在入力されている映像信号の種類を表示します。
35 ランプ時間
光源ランプを使用した累積時間を表示します。

●リモコンから表示することもできます。(📖P12)

お好みの映像にする

投写した映像をお好みの画質に調整し、調整した値を登録します。(イメージプロファイル)
イメージプロファイルは、出荷時に設定されている「シネマ」「ナチュラル」「ダイナミック」のほかに、ユーザー用として３種類あります。

出荷時のイメージプロファイルの値を変更する

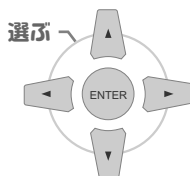
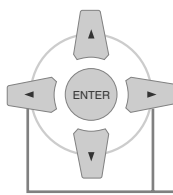
イメージプロファイルに登録されるのは、「コントラスト」、「明るさ」、「色のこさ」、「シャープネス」、「DNR」、「色温度」、「ガンマ」、「オフセット」の項目です。

1 イメージプロファイルを選びます

2 画質を調整します

《例》「コントラスト」を調整する場合

1 設定メニューを表示します

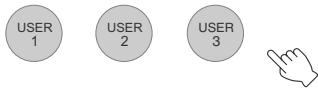
2 「画質」➡「画質調整」➡「コントラスト」を選びます

3 調整します

4 調整を終了します

3 ほかの項目も調整します

4 終了します

- 「コントラスト」、「明るさ」、「色のこさ」、「シャープネス」、「色温度」、「ガンマ」はリモコンからも調整できます。(📖 P12)
- 出荷時の値に戻すときは、設定メニューの「登録と消去」で登録内容をリセットしてください。(📖 P27 - 12)

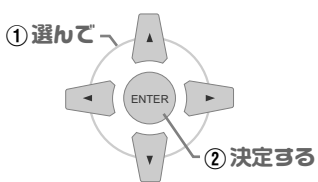
ユーザー用イメージプロファイルに登録する

1 イメージプロファイルを選びます

2 画質を調整します

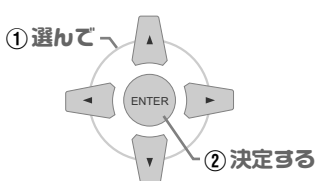
●画質調整のしかたは、「出荷時のイメージプロファイルの値を変更する」をご覧ください。(📖 P32)

3 イメージプロファイルを登録します

1 設定メニューを表示します

2「設定」➡「登録と消去」を選びます

画質 設定 ビデオ 設置 機能 情報

イメージプロファイル	ユーザー１に登録	シネマをリセット
登録と消去	ユーザー２に登録	ナチュラルをリセット
表示位置	ユーザー３に登録	ダイナミックをリセット
HDMI 入力レベル	ユーザー１を消去	
画面マスク	ユーザー２を消去	
	ユーザー３を消去	

3 登録します

画質 設定 ビデオ 設置 機能 情報

イメージプロファイル	ユーザー１に登録	シネマをリセット
登録と消去	ユーザー２に登録	ナチュラルをリセット
表示位置	ユーザー３に登録	ダイナミックをリセット
HDMI 入力レベル	ユーザー１を消去	
画面マスク	ユーザー２を消去	
	ユーザー３を消去	

4 終了します

●出荷時の値に戻すときは、設定メニューの「登録と消去」で登録内容をリセットしてください。(📖 P27 - 12)

注意

●画質を調整したあと、登録する前にほかのイメージプロファイルを選ぶと、変更内容は登録されません。

故障かな？ と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を確認してください。

こんなときは故障ではありません。

■下記のような場合でも、画面に異常がなければ心配ありません。
- 本体の上面や前面の一部が熱くなっている場合
- 本体から「ミシッ」という音がする場合
- 本体の内部から動作音が聞こえる場合
- 画面によっては色にじみが出る場合

■外部からの雑音やノイズにより正常に動作しなくなった場合、次の操作を行なってください。
① スタンバイ状態のときに電源プラグを 1 度抜いてから、再び差し込みます。
② 本体の電源ボタンを押して電源を入れ直します。

■ランプが切れるときに音がすることがありますが、危険はありません。

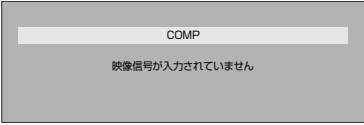
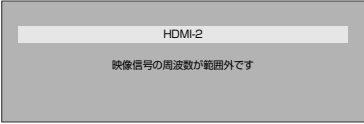
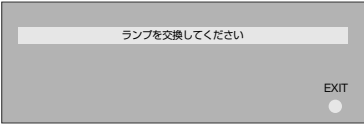
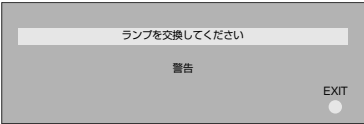
■D-ILA 素子は高精度技術で製造されていますが、画素欠けや常時点灯する画素があります。

電源が入らない		
電源コードがはずれていませんか？	電源コード (プラグ) をしっかり差し込んでください。	📖 P20
ランプカバーを正しく閉めましたか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ランプカバーを正しく閉めてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	📖 P39
ランプが冷却中ではありませんか？	クールダウンモードが終了してから、もう 1 度電源を入れてください。	📖 P21

投写映像が暗い		
ランプの寿命が近づいていませんか？	情報メニューでランプ使用時間を確認してください。ランプの寿命が近いときは新しいランプユニットを準備するか、早めに交換してください。	📖 P38～40

電源を入れて投写するが、数分後に切れてしまう		
吸気孔や排気孔をふさいでいませんか？	スタンバイ状態のときに電源プラグをはずし、ふさいでいる物を取り除いてください。その後、電源プラグを差し込んでください。	📖 P6, 10
フィルターが汚れていませんか？	フィルターを掃除してください。	📖 P41

映像が出ない		
レンズキャップをはずしましたか？	レンズキャップをはずしてください。	📖 P20
正しい外部入力を選んでいますか？	正しい外部入力を選んでください。	📖 P20
AV 機器を正しく接続してますか？	AV 機器を正しく接続してください。	📖 P14～16
AV 機器の電源は入っていますか？	AV 機器の電源を入れて、再生してください。	📖 P20
AV 機器から正しい信号が出ていますか？	AV 機器を正しく設定してください。	📖 P14～16
入力端子の設定は正しいですか？	設定メニューの「COMP」や「HDMI」を入力信号に合わせて設定してください。	📖 P27 - 16 📖 P28 - 17
映像を一時的に消していませんか？	[HIDE] ボタンを押して、映像を出してください。	📖 P21

色が出ない、おかしい		
映像調節は正しいですか？	設定メニューの「色のこさ」や「色あい」を調節してください。	📖 P25 - 03 04

映像がぼやける		
フォーカス（焦点）は合っていますか？	フォーカス調整リングを回して、フォーカスを調整してください。	📖 P21
距離が近すぎたり、遠すぎたりしていませんか？	正しい距離に設置してください。	📖 P18, 19

映像が欠ける		
画面マスクを設定をしていませんか？	設定メニューの「画面マスク」を「オフ」にしてください。	📖 P23, 27 - 15
表示位置がずれていませんか？	設定メニューの「表示位置」の値を変えて、映像が欠けないようにしてください。	📖 P27 - 13

リモコンが働かない		
乾電池は正しく入っていますか？	乾電池の極性（⊕、⊖）を正しく入れてください。	📖 P13
乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。	📖 P13
リモコンとリモコン受光部との間に遮へい物はありませんか？	遮へい物を取り除いてください。	📖 P13
距離が離れすぎていませんか？	近づいて送信してください。	📖 P13

突然電源が切れた		
スリープタイムを設定していませんか？	設定メニューの「スリープタイム」を「オフ」にしてください。	📖 P30 - 29

こんなメッセージが出たら

メッセージ	原因（内容）
COMP 映像信号が入力されていません	入力端子に何も接続されていないとき 入力端子が接続されているが、信号がないとき ➡映像信号を入力してください。
HDMI-2 映像信号の周波数が範囲外です	本機で使用できない映像信号が入力されたとき ➡使用できる映像信号を入力してください。
ランプを交換してください EXIT	ランプ使用時間が 1900 時間を過ぎると表示されます。 [EXIT] ボタンを押すと、メッセージは消えます。 ➡新しいランプユニットを準備し、早めに交換してください。
ランプを交換してください 警告 EXIT	ランプ使用時間が 2000 時間を過ぎると表示します。 メッセージは投写するたびに表示されます。 [EXIT] ボタンを押すと、メッセージは消えます。 ➡新しいランプユニットに交換し、ランプ時間をリセットしてください。（📖 P38～40）

インジケーターの警告表示について

本機のランプ使用時間や警告モードをインジケーターで表示します。
通常動作中のインジケーター表示については、「各部のなまえとはたらき」(📖 P10**) をご覧ください。**

No.	インジケーター		内容
	LAMP	WARNING	
1	点灯	–	ランプ交換が近くなったとき (📖 P38 ～ 40) (ランプ使用時間が 1900 時間を過ぎたとき)
2			ランプが寿命になったとき (📖 P38 ～ 40) (ランプ使用時間が 2000 時間を過ぎたとき)
3	点滅	点灯	ランプが点灯せずに投写できなかったとき
4			投写中にランプが消えたとき
5			ランプカバーがはずれいているとき
6	–	点灯	回路動作に異常があるとき (マイコン回路の動作異常)
7			回路動作に異常があるとき (ドライブ回路の動作異常)
8			内部の温度が異常に高いとき (内部温度異常)
9			外部の温度が高いとき (外部温度異常)
10			冷却ファンが停止したとき (ファンロック)

警告モードの対応について

警告モード（No.3 ～ 10）になると、自動的に投写を中断して約 60 秒間冷却ファンを回します。
冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、下記の確認と対応を行なってください。

No.	確認	対応
3	●動作中に衝撃を受けることがないか確認してください。 ●ランプユニット、ランプカバーが正しく取り付けられているか確認してください。	再度、電源を入れてください。
4		
5		
6	●吸気孔をふさぐようなものがないか確認してください。 ●外部の温度が正常か確認してください。	本機をしばらくそのまま冷やしてください。 その後、電源を入れてください。
7		
8		
9		
10		

再度、警告モードになるときは、冷却ファンが停止してから電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口に修理を依頼してください。(📖 P42)

ランプを交換する

ランプは消耗品です。映像が暗くなったり、ランプが切れたときは、新しいランプユニットと交換してください。

● ランプ交換時間が近づくと画面上にメッセージが表示され、インジケーターでお知らせします。(P36, 37)

注意

● 電源プラグをコンセントから抜いてください。けがや感電の原因となります。
● 本機の使用直後には行わず、1 時間以上の冷却時間をおいてください。ランプが高温になっているため、やけどの原因になります。
● ランプユニットに衝撃を与えないでください。ランプが破裂する原因になります。
● 可燃性のエアダスターなどで本機内部を清掃しないでください。火災の原因となります。

MEMO

ランプの使用可能時間について

● 本機に使用しているランプの使用可能時間は約 2000 時間です。これは平均的な使用可能時間であり、この時間を保証するものではありません。
● 使用条件によっては、2000 時間に満たないで使用できなくなることがあります。
● ランプの使用可能時間が少なくなると、ランプは急激に劣化します。
● 映像が暗く色合いがおかしい場合は、早めに新しいランプユニットと交換してください。

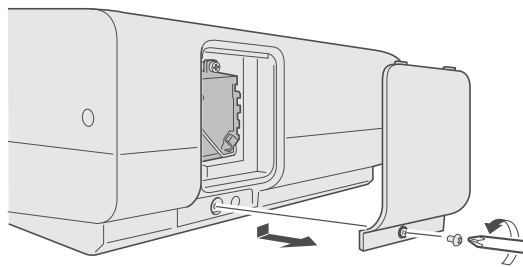
ランプユニットの購入は

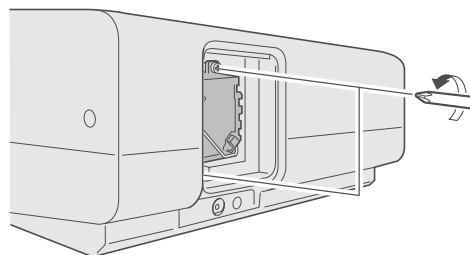
お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。(P43)

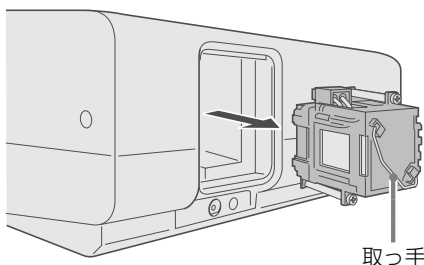
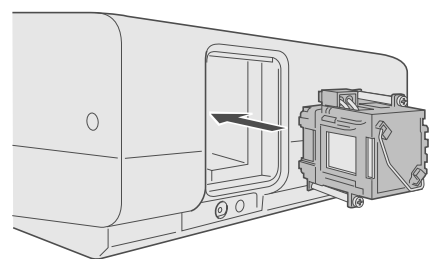
■ ランプユニット
品番 : BHL5009-S

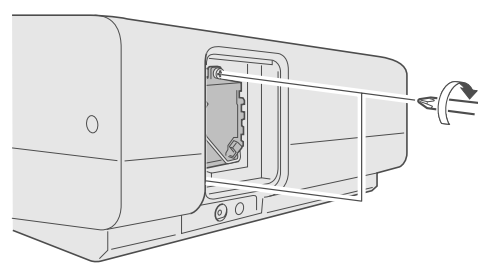
ランプ交換のしかた

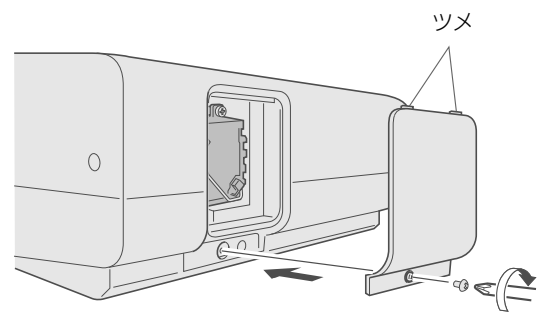
1 ランプカバーをはずします

● ネジを ⊕ ドライバーではずします。

2 ランプユニットのネジをゆるめます

● ネジを ⊕ ドライバーでゆるめます。

3 ランプユニットを取り出します

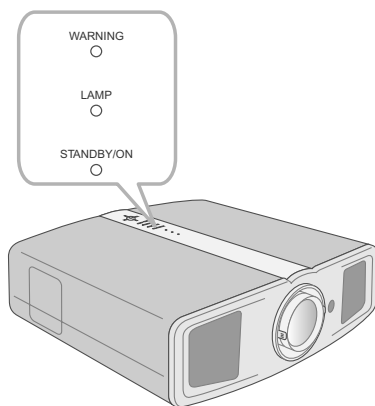
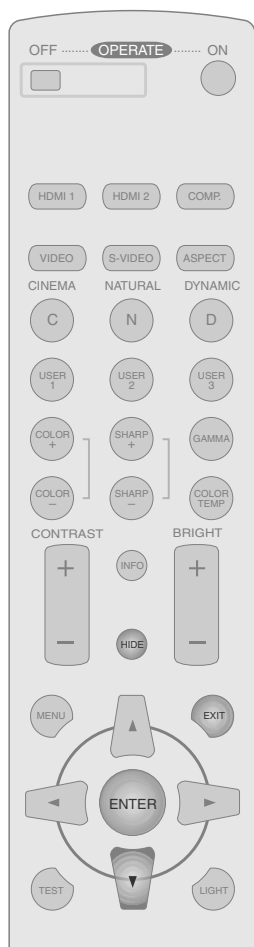
● 取っ手をつかんで取り出します。

4 新しいランプユニットを取り付けます

5 ランプユニットのネジを締めます

●ネジを ⊕ ドライバーで締めます。

6 ランプカバーを取り付けます

●ランプカバー上部の２か所のツメを先に本体に差し込んでください。
●ネジを ⊕ ドライバーで締めます。

●ランプユニットは純正品を使用してください。また、使用済みの古いランプユニットは絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
●新しいランプの表面に触らないでください。 ランプの寿命が短くなったり、ランプが破裂する原因になります。

ランプを交換したあとは

●取りはずしたランプユニットを、お子様の手の届くところや燃えやすいものの近くに置かないでください。
●使用済みのランプユニットは、蛍光灯と同じ扱いで廃棄してください。廃棄については、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ランプを交換する（つづき）

注意

- ランプ時間のリセットは、新しいランプに交換したときのみ行なってください。
- 途中でリセットは行わないでください。交換時間の目安が不明になり、ランプが破裂する原因になります。

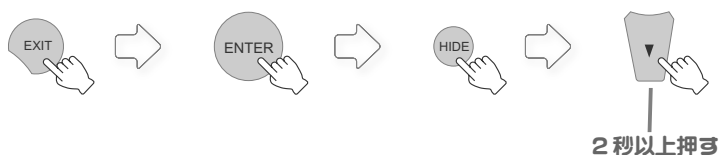
ランプの時間リセット

新しいランプユニットに交換したら、ランプ時間をリセットしてください。

1 電源プラグをコンセントに差し込みます

⏻/I STANDBY/ON　赤に点灯

2 ランプ時間をリセットします

- 順番に押します。
- 各ボタンを押す間隔は 0.5 秒以内に押してください。最後のボタンは２秒以上 押してください。

- [LAMP] インジケーターと [STANDBY/ON] インジケーターが交互に３秒間点滅します。その後、スタンバイ状態になります。

フィルターの掃除と交換のしかた

フィルターは定期的に掃除してください。汚れていると吸気効率が悪くなり、故障の原因になります。

1 インナーフィルターをはずします

2 フィルターを掃除します

- 水で洗い、日陰で乾かしてください。
- 汚れがひどいときは中性洗剤を使ってください。
  中性洗剤を使用するときは、ゴム手袋を着用してください。
- 水洗いしたときは、完全に乾かしてから取り付けてください。ぬれたまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- フィルターを掃除機やエアダスターなどで掃除しないでください。 フィルターは柔軟なため、損傷する原因になります。

3 インナーフィルターを取り付けます

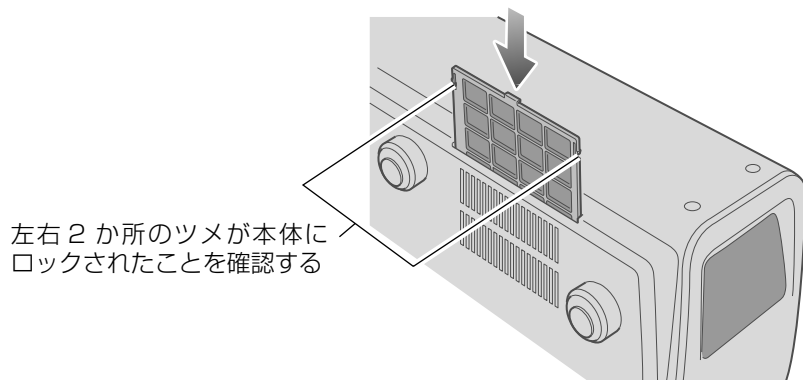
注意

- 電源プラグをコンセントから抜いてください。

MEMO

汚れがきれいにならないときや、損傷したときは

- 新しいフィルターと交換してください。そのまま使用すると本機内部にゴミが入り、映像に影が現れることがあります。
- フィルターの購入や内部にゴミが入った場合は、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。(P43)

■インナーフィルター
品番：LC32058-002A

保証とアフターサービス

保証書と補修用性能部品について

保証書（別添付）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。

●光源ランプの保証期間については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、プロジェクターの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 8 年間は保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

34 ～ 35 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機械設備費、一般管理費が含まれています。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご連絡していただきたい内容

品名	D-ILA ホームシアタープロジェクター	お買い上げ日	年　月　日
型名	DLA-HD1	故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所・お名前	付近の目印なども	電話番号	(　　)　－

愛情点検　●長年ご使用の本機の点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか？

●電源を入れても映像が出ない。
●上下、または左右の映像が欠けて映る。
●映像がときどき、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像が消えない。

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

●お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。
●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
● お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

サービス窓口のご案内

Victor
"HIS MASTER'S VOICE"

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138) 52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター（株）八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	ENGサポートセンター24 受付グループ	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市中央区鐙1丁目5-23
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

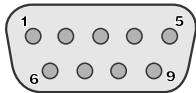
都道府県名	窓口名	TEL	所在地
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10今尾ビル103号室
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
北陸			
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市問屋町47番地市場ハイツA1F ウチノ電子株式会社内
大阪 奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫 中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫 西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 0707

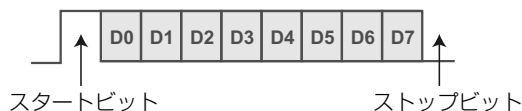
●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

RS-232C インターフェース

本機とパーソナルコンピューターをRS-232Cクロスケーブル(D-Sub9ピン)で接続すると、本機を制御できます。

RS-232C 仕様

ピン No.	信号	動作	信号の方向
2	RxD	受信データ	本機 ← PC
3	TxD	送信データ	本機 → PC
5	GND	シグナルグランド	–
1, 4, 6 – 9	N/C	–	–

●PC は、パーソナルコンピューターなどのコントローラーの意味です。

モード	非同期
キャラクター長	8 ビット
パリティ	なし
スタートビット	1
ストップビット	1
データ速度	19200 bps
データ形式	バイナリ

コマンドフォーマット

本機とパソコン間のコマンドは、「ヘッダー」「ユニットID」「コマンド」「データ」「終了」の５種類で構成されています。

●ヘッダー (1 バイト) · ユニット ID(2 バイト) · コマンド (2 バイト) · データ (n バイト) · 終了 (1 バイト)

■ヘッダー

通信の開始を示すバイナリコードです。

バイナリコード	種別	説明
21	操作コマンド	PC → 本機
3F	参照コマンド	PC → 本機
40	応答コマンド	本機 → PC
06	ACK	本機 → PC (コマンドを正常に受け付けたときに、PC へ返す)

■ユニット ID

本機を指定するコードです。バイナリコードは「8901」固定です。

■コマンドとデータ

操作コマンドとデータ (バイナリコード)

コマンド	種別	データの説明
0000	接続確認	スタンバイ時に、本機と PC 間で通信ができるかを確認します。
5057	電源	スタンバイ時 31 : 電源をオンにします。 電源オン時 30 : 電源をオフにします。(スタンバイ状態)
4950	入力	電源オン時 30 : S-VIDEO 31 : VIDEO 32 : COMP. 36 : HDMI 1 37 : HDMI 2
5243	リモコン	付属のリモコンと同じコードを送ります。 ●「リモコンコード」(P46)

参照コマンドとデータ (バイナリコード)

コマンド	種別	データの説明
5057	電源	スタンバイまたは電源オン時 30 : スタンバイ状態 31 : 電源オン状態 32 : クールダウンモード中 34 : 本機の異常時
4950	入力	電源オン時 30 : S-VIDEO 31 : VIDEO 32 : COMP. 36 : HDMI 1 37 : HDMI 2

■終了

通信の終了を示すコードです。バイナリコードは「0A」固定です。

RS-232C インターフェース（つづき）

■リモコンコード

●通信するときは、バイナリコードで送信します。

リモコンボタン名称	バイナリコード
▲	37 33 30 31
▼	37 33 30 32
EXIT	37 33 30 33
OPERATE ON	37 33 30 35
OPERATE OFF	37 33 30 36
HIDE	37 33 31 44
MENU	37 33 32 45
ENTER	37 33 32 46
▶	37 33 33 34
◀	37 33 33 36
VIDEO	37 33 34 42
S-VIDEO	37 33 34 43
COMP.	37 33 34 44
TEST	37 33 35 39
CINEMA	37 33 36 39
NATURAL	37 33 36 41
DYNAMIC	37 33 36 42

リモコンボタン名称	バイナリコード
USER1	37 33 36 43
USER2	37 33 36 44
USER3	37 33 36 45
HDMI 1	37 33 37 30
HDMI 2	37 33 37 31
INFO	37 33 37 34
GAMMA	37 33 37 35
COLOR TEMP	37 33 37 36
ASPECT	37 33 37 37
CONTRAST (a)	37 33 37 38
CONTRAST (b)	37 33 37 39
BRIGHT (a)	37 33 37 41
BRIGHT (b)	37 33 37 42
COLOR (a)	37 33 37 43
COLOR (b)	37 33 37 44
SHARP (a)	37 33 37 45
SHARP (b)	37 33 37 46

RS-232C 通信例

RS-232C の通信例を示します。

■操作コマンド

種別	コマンド	説明
接続確認	PC → 本機 : 21 89 01 00 00 0A 本機 → PC : 06 89 01 00 00 0A	接続を確認
電源 (オン)	PC → 本機 : 21 89 01 50 57 31 0A 本機 → PC : 06 89 01 50 57 0A	スタンバイ状態から電源をオンにしたとき
電源 (オフ)	PC → 本機 : 21 89 01 50 57 30 0A 本機 → PC : 06 89 01 50 57 0A	電源オン状態から電源をオフ (スタンバイ状態) にしたとき
入力 (COMP.)	PC → 本機 : 21 89 01 49 50 32 0A 本機 → PC : 06 89 01 49 50 0A	映像入力をコンポーネントにしたとき
リモコン (MENU)	PC → 本機 : 21 89 01 52 43 37 33 32 45 0A 本機 → PC : 06 89 01 52 43 0A	リモコンの [MENU] ボタンを押したときと同じ動作をさせたとき

■参照コマンド

種別	コマンド	説明
電源 (オン)	PC → 本機 : 3F 89 01 50 57 0A 本機 → PC : 06 89 01 50 57 0A 本機 → PC : 40 89 01 50 57 31 0A	電源オン状態の情報を得たとき
入力 (S-VIDEO)	PC → 本機 : 3F 89 01 49 50 0A 本機 → PC : 06 89 01 49 50 0A 本機 → PC : 40 89 01 49 50 30 0A	S-VIDEO 入力の情報を得たとき

著作権とご注意

商標と著作権について

- HDMI、HDMI ロゴおよび高品位マルチメディアインターフェイスは、HDMI Licensing LCC の商標また登録商標です。
- この製品は、株式会社リコーが製作、販売したリコー TrueType フォントを使用しています。

使用上のご注意

素子の焼き付きについて

高輝度な画面や高コントラストな画面を持つ静止映像などを長い時間映さないでください。素子に画像が焼き付くことがあります。

特にビデオゲームやコンピュータープログラム画面などの画像には注意してください。

通常のビデオ再生映像などの動画では問題ありません。

長時間使わないときは

長時間使用しないと、機能に支障をきたすことがあります。ときどき電源を入れて動作させてください。

使用環境について

- スクリーンに直射日光や照明があたらないように、カーテンなどでさえぎってください。部屋を暗くすることにより、より良い映像でご覧いただけます。
- たばこを吸う部屋では、使用しないでください。故障の原因となります。

部品交換の目安について

本機には、機能を維持するために交換が必要となる部品（光学部品、冷却用ファンなど）が含まれています。部品交換の目安は、使用する頻度や環境によって大きく変わります。交換につきましては、お買い上げの販売店、またはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。(📖 P43)

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

お手入れのしかた

キャビネットの汚れは

- 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でぬらした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。
  キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。
  - シンナーやベンジンでふかない
  - 殺虫剤など揮発性のものをかけない
  - ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

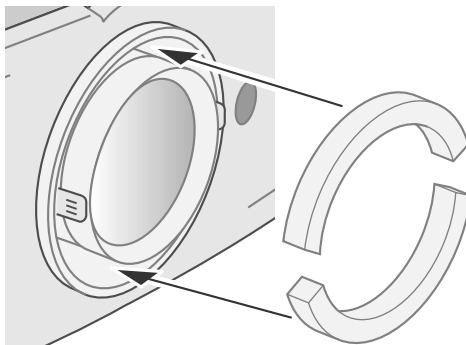
通気孔に付着した汚れは

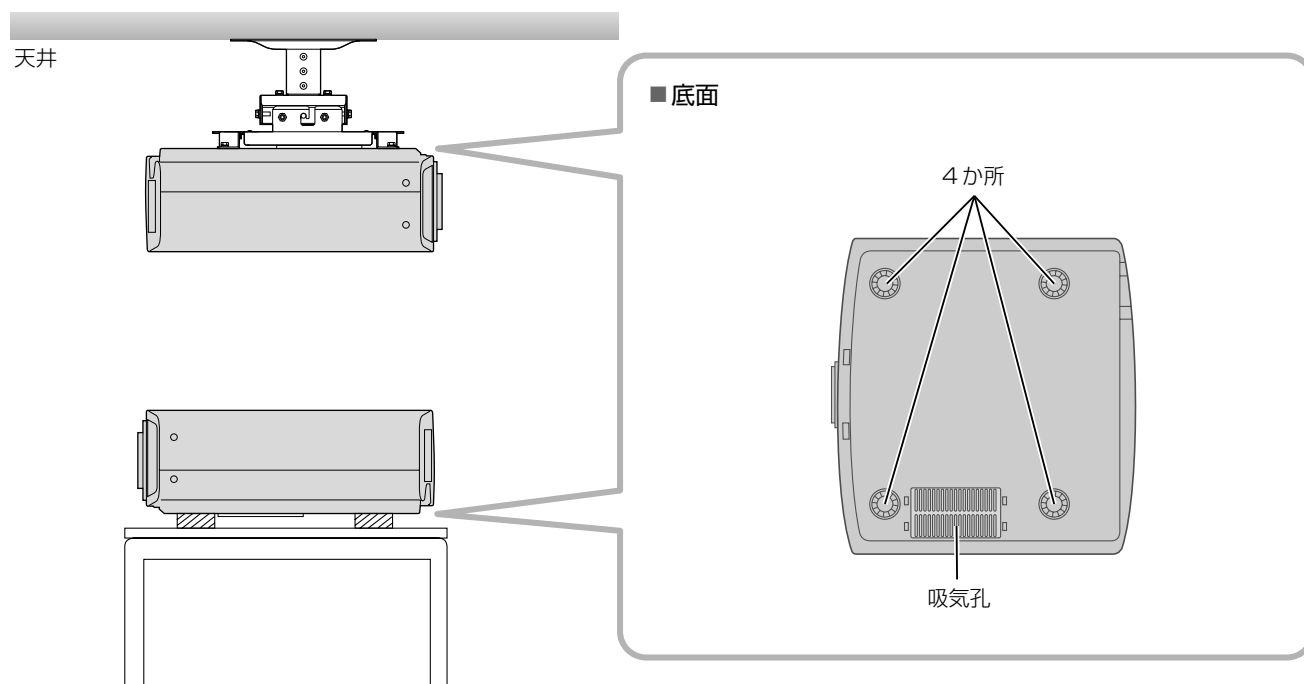
- 掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときは、布でふき取ってください。ほこりが付着したまま放置すると、内部の温度調節ができなくなり、故障の原因となることがあります。

レンズの汚れは

- 市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー (メガネやカメラなどの清掃用) でふき取ってください。
  液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因になります。

本機を輸送するときは

修理やご転居で本機を輸送するときは、レンズの上下に保護用のクッション材を取り付けてください。保護用のクッション材を取り付けないと、レンズを衝撃から守れず、破損する原因となります。
取り付けるときは、レンズ位置を中央にしてから取り付けてください。

本機を固定するときは

地震など、非常時の安全確保と事故防止のため、転倒・落下防止の処置をしてください。
本機を台や天井に固定するときは、底面のフット４個をはずし、それらのネジ穴 (M5 ネジ)4 か所すべてを使用して固定してください。

固定するときの注意

- 設置工事は専門の知識や技術が必要です。設置工事は、必ず販売店または工事専門業者にご依頼ください。
- ネジ穴の深さ(ネジの長さ)は、30 mmです。取り付け部分のネジは、長さ 30 mm 以下、19 mm 以上のネジをお使いください。
  指定以外のネジを使用した場合は、故障や本機の落下などの原因になります。
- 台に固定する場合、吸気孔をふさがないように吸気孔周辺に十分なスペース（フットの高さ 21.5mm 以上）を確保してください。
- 本機を左右±５゜以上傾けてお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を縮める原因となることがあります。
- 当社以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷などについては、保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。
- 天井に吊り下げて使用するときは、本機周辺の温度に気をつけてください。暖房を使用した場合、天井付近は予想以上に高温になります。

主な仕様

品名		D-ILA ホームシアタープロジェクター
型名		DLA-HD1
表示パネル／サイズ		D-ILA 素子 *1 *2 / 0.7 型 (1920 画素 ×1080 画素) × 3 枚 (総画素数 : 約 622 万画素)
投写レンズ		2.0 倍手動ズームレンズ (1.4 : 1 ～ 2.8 : 1) (ズーム・フォーカス : 手動)
光源ランプ		200 W 超高圧水銀ランプ [型番 : BHL5009-S]
対応画面サイズ		約 60 型 ～ 200 型 (アスペクト比 16:9)
投写距離		約 1.8 m ～ 12.2 m
カラー方式		NTSC、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、SECAM (自動切替／手動切替)
アナログビデオ入力フォーマット		480i、480p、576i、576p、720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080i/50 Hz、1080i/60 Hz
デジタルビデオ入力フォーマット		480i、480p、576i、576p、720p/50 Hz、720p/60 Hz、1080i/50 Hz、1080i/60 Hz、1080p/24 Hz、1080p/50 Hz、1080p/60 Hz、VGA 60Hz
解像度		1920 ドット × 1080 ドット
入力端子		
	映像入力 (VIDEO)	1 系統、RCA ピンジャック × 1 1.0 V(p-p)、75 Ω、同期
	S 映像入力 (S-VIDEO)	1 系統、ミニ DIN 4 ピン × 1 Y : 1.0 V(p-p)、75 Ω C : 0.286 V(p-p)、75 Ω(NTSC)、0.3 V(p-p)、75 Ω(PAL)
	コンポーネント映像入力 (COMPONENT)	1 系統、RCA ピンジャック × 3 Y : 1.0 V(p-p)、75 Ω CB/PB、CR/PR : 0.7 V(p-p)、75 Ω
	HDMI 入力 (HDMI 1、HDMI 2)	2 系統、HDMI 19 ピン × 2 (HDCP に対応) *3
使用電源		AC 100 V 50/60 Hz
消費電力		280 W (待機時 : 2.7 W)
使用環境		温度 : 5 ℃ ～ 35 ℃ 湿度 : 20 % ～ 80 % (非結露) (保存温度 : −10 ℃ ～ 60 ℃)
設置高度		5000 ft(約 1524 m) 以下
外形寸法 (横幅 × 高さ × 奥行)		455 mm × 172.5 mm × 418.5 mm (レンズ、突起部を除く)
質量		11.6 kg
付属品		(5 ページをご覧ください)

*1 D-ILA とは、Direct drive Image Light Amplifer の略称です。
*2 D-ILA 素子は、非常に精度の高い技術で作られており、99.99 % の有効画素がありますが、0.01 % 以下の画素欠けや常時点灯するものもありますので、あらかじめご了承ください。
*3 HDCP とは、High-bandwidth Digital Content Protection system の略称です。
HDCP 規格変更などにより HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。

- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
  This projector is designed for use in Japan only and can not be used in any only country.
- 写真や図は説明をわかりやすくするために、誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- 本機は「JIS C61000-3-2 適合品」です。

外形寸法

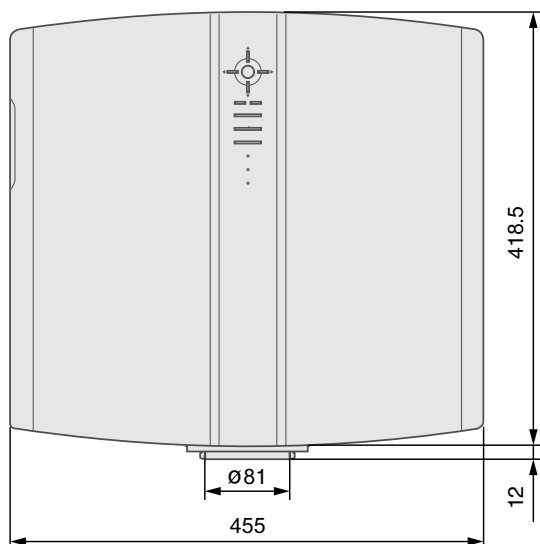
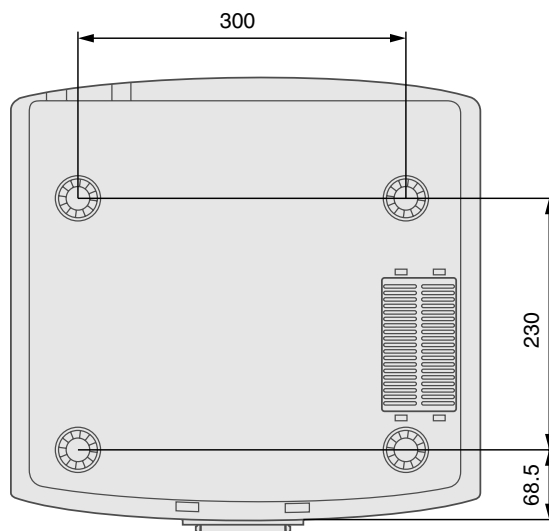
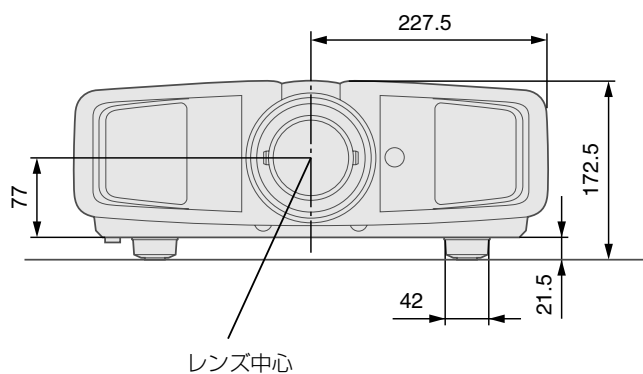
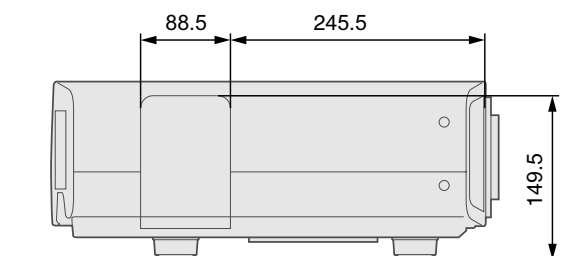
(単位 : mm)

■上面

■底面

■前面

■左側面

DLA-HD1　D-ILA ホームシアタープロジェクター

製品についてのご相談や修理のご依頼は
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては42ページをご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 **43ページをご覧ください。**	フリーダイヤル **お客様ご相談センター** **0120−2828−17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話　(045) 450−8950 FAX　(045) 450−2275 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

1007TTH-SW-VP